

令和3(2021)年度

入学者選拔要項

(学士課程)

令和2年7月



この入学者選抜要項は、金沢大学が実施する令和3年度入学者選抜に関する概要をまとめたものです。
出願する際は、出願する入試区分の学生募集要項を必ず確認してください。

(注意)

1. 出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
2. 融合学域先導科学類（仮称）及び医薬保健学域医薬科学類（仮称）は設置認可申請中であるため、**本要項に掲載する募集人員、入学者選抜方法等は予定であり、予告なく変更する場合があります。**詳細については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審議結果通知後に本学 Web サイト及び学生募集要項で公表予定です。
3. 学生募集要項の発表予定時期については、92 ページ **16** 学生募集要項の発表予定時期で確認してください。
4. 新型コロナウイルス感染症の影響により、入学者選抜に関する事項も予告なく変更する場合があります。

金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

本学の入試情報（入試日程、学生募集要項、入学者選抜方法等の変更／予告、Web 出願登録サイト）、学生募集イベント情報（オープンキャンパス等）、学域・学類の紹介等を配信しています。

ダウンロード（無料）はこちらから



目 次

■出願方法〔Web出願〕

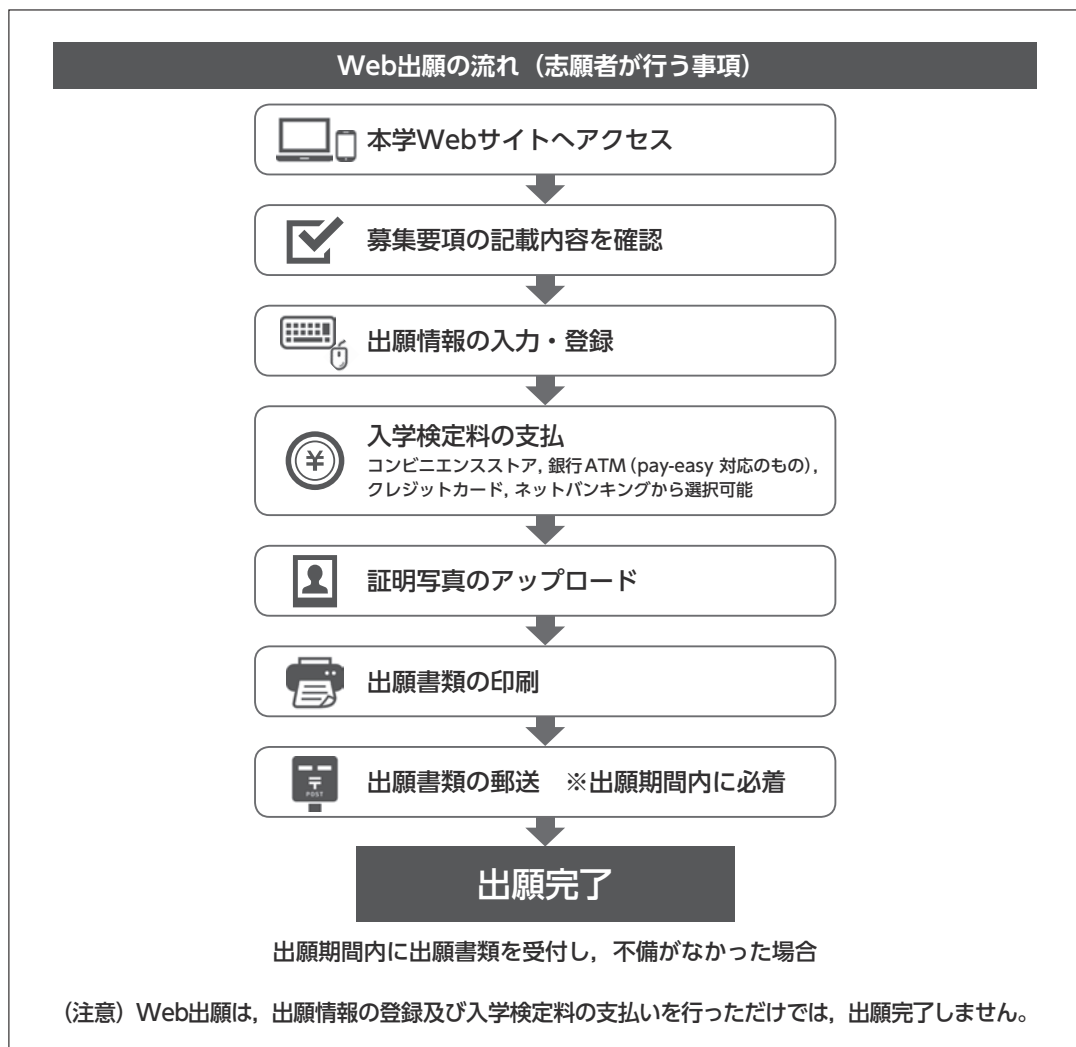
■学長から受験者の皆さんへ

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	6
2	募集人員	20
3	入学者選抜試験日程	21
4	入学者選抜方法等の概要	
1	一般選抜	22
2	特別選抜	23
3	英語外部試験スコア提出における注意事項（全選抜共通）	25
5	一般選抜（前期日程）	
1	実施日程	26
2	出願資格	26
3	入学者選抜の実施教科・科目等	28
4	試験時間割	37
6	KUGS特別入試	
1	総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	39
2	総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	40
3	学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	57
4	学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	58
5	英語総合選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）	71
6	KUGS高大接続プログラム受講からKUGS特別入試までの流れ	72
7	超然特別入試	
1	A-lympiad選抜	74
2	超然文学選抜	76
8	薬学類・高大院接続入試	78
9	在外留学生推薦入試	80
10	社会人選抜	81
11	帰国生徒選抜	82
12	国際バカロレア入試	86
13	私費外国人留学生入試	88
14	障がいのある者等の出願	
1	事前相談期限	91
2	提出書類	91
3	相談先	91
15	JAPAN e-Portfolio 学びのデータ	92
16	学生募集要項の入手方法等	
1	学生募集要項の入手方法	92
2	学生募集要項の発表予定時期	92
3	大学案内等の請求方法	92
4	問合せ先	93
5	金沢大学所在地略図	95

■出願方法 [Web 出願]

金沢大学の出願方法はWeb出願限定です。

学生募集要項は、本学Webサイトから確認してください。紙媒体（冊子）での配布は行いません。



※ Web出願の詳細は、後日公表する学生募集要項及び本学Webサイトを確認してください。

本学（入試情報）Webサイト 本学トップページ＞教育＞入試情報
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



《Web 出願デモサイト》

Web出願を体験できるデモサイトを、本学Webサイト（本学トップページ＞教育＞入試情報＞Web出願）に掲載しています。

■学長から受験者の皆さんへ

金沢大学長 **山崎光悦**



金沢大学は1862年に設立された加賀藩種痘所を源流とし、1949年に新制大学としてスタートした長い歴史と伝統を誇る総合大学です。「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の基本理念のもと、「東アジアの知の拠点」を目指し、国内外で活躍できるグローバル人材の育成に力を注いでいます。

あなたは何に憧れ、何を期待して大学入学を目指すのでしょうか？

皆さんを取り巻く世界の状況は、今、まさに大きな変革期を迎えています。すべてのモノをネットワークで結合して得たデータを活用するIoT（Internet of Things）技術や、第4次産業革命を巻き起こす取組みが、国際社会全体を巻き込んだ総力戦によって展開されています。日本政府が掲げる超スマート社会（Society5.0）の実現を含め、ビックデータと人工知能（AI）、自動運転など、未来社会の実現に向けた新しいモノ造りやサービスの提供、新しいビジネスモデルが次々と生まれています。これからは数理・データサイエンスの知識やスキルが問われる場面が頻発し、AIと共に働く、そんな世界が眼前に迫ってきています。知識を吸収するだけの薄っぺらな学びでは、やがてAIに取って代わられてしまいます。

立ち向かわねばならない、こうした未来課題が多くあればあるほど、困難であればあるほど大学で学ぶことの意義は大きく、重要となってきます。若い皆さんに対する社会の期待も、当然大きなものがあります。困難な課題を克服し新たな時代を切り拓くためには、専門分野の知識と能力に加え、国際感覚と分野横断的な統率力を身に付け、社会における自己の立ち位置を知り、そこにある諸課題に自ら率先し立ち向かうことのできる人材が不可欠です。

これらの力を備えるために、金沢大学は、人材育成のための本学独自の教育方針である「金沢大学〈グローバル〉スタンダード」（KUGS）を定めています。KUGSに基づき、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力、体力、人間力を備えた人材育成に向けた学びを提供しています。

金沢大学では、このKUGSに適う資質と能力の素養を持つだけでなく、なによりもこのような人材になろうとする高い志と強い気概を備えた人物を歓迎します。

大学で学ぶ目的は何でしょうか？ 私の答えは「己を磨く！」ことです。

第一に、「人間としての己を磨く！」ことです。KUGSを基に金沢大学が独自に開発した教材により、人文科学、社会科学そして自然科学の基礎知識・常識を積極的に学び、教養を深め、高い倫理観と、新しいアイデアを創造する力やそれを具現化する実践力など、いわゆる「人間基礎力」を磨いていただきたいと考えています。

第二に、「専門人としての己を磨く！」ことです。金沢大学独自の枠組みである“学域・学類”には、“学部・学科”よりも学びの幅が広いという特徴があります。また、最終的な専門分野・コースを入学後に決定できる「経過選択制」と幅広い学習機会が得られる「副専攻制」などの制度を設けており、自律的に学ぶことができる環境を提供しています。自らつくる「学びの計画」に沿って、専門知識を深め、スキルを磨き、創造力を育むことができます。それがやがては皆さん自身の個性、特色、強みとなるはずです。

第三に、「グローバル人材としての己を磨く！」ことです。世界を舞台に活躍し、人類に貢献するには、自国の文化を背景に異文化を理解し、受け入れる寛容性と総合的な人間力を鍛えることが大切です。それは地域コミュニティで活躍する場合でも同じです。海外には、日本国内に留まっていたとは分らない、全く違う世界が広がっています。それを経験してもらうために、金沢大学は独自の留学プログラムを多数そろえています。奨学金などの海外留学のための様々な支援制度を活用し、在学中に少なくとも一度は海外留学に挑戦する意欲を期待します。そのためにも、日頃から国際コミュニケーション力、英語による会話力を磨いていただきたいと考えています。

人間として、専門人として、そしてグローバル人材としての基礎を形成する4年間または6年間の金沢大学で学ぶ年月が、皆さんの人生においてかけがえのないものとなるよう、教職員一同、全力で皆さんを応援します。あらゆる困難に立ち向かう精神力を鍛え、そしてグローバル人材として世界に飛び立つ自分を金沢大学で磨いてみませんか。

1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

I 金沢大学アドミッション・ポリシー

(1) 金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久2）年、加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は、旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として、1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は、そのありうべき姿を、現在、金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち、金沢大学憲章は、その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、『地域と世界に開かれた教育重視の研究大学』の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは、以下のものに他なりません。

「金沢大学は、学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

(2) 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）と求める人材像

さらに、教育の国際化とグローバル人材育成が声高に叫ばれている今、金沢大学は、上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために、金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めています。これは、各学域学類のアドミッション・ポリシーの源泉たる、大学全体のアドミッション・ポリシーとするものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）（抄）

「本学は、各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなつて、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。」

すなわち、金沢大学は、このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく、なによりも、このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

(3) 金沢大学と主体性評価

金沢大学は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

II 学域・学類等のアドミッション・ポリシー

《融合学域》（仮称）

【先導科学類】（仮称）

あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等では、国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では、“社会変革を先導するリーダー”となる人材が不可欠です。そこで先導科学類（仮称）では、自己の鍛錬を続けて人・科学・社会の変革を先導する意欲を持つ人材を育成します。社会の要請に応えるため、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする社会変革人材の養成を目指しています。

求める人材

先導科学類（仮称）では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を融合し、社会変革に資する新たなモデル創成に挑戦したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語に加え、数学又は総合問題を課して学力を多面的に評価します。

理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

基礎学力に加え、文章を理解する能力、論理的思考力、表現力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を多面的・総合的に判定します。

（英語総合選抜）

基礎学力に加え、英語による総合的な課題（総合問題）、口述試験（プレゼンテーションを含む）を課して、論理的思考力や国際的なコミュニケーション能力及び平素の努力のプロセスや本学入学後の勉学意欲等を中心に多面的・総合的に判定します。

■超然特別入試

（A-Impiad選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、数学的に特異な才能を活かして社会的な課題の解決に取り組む意欲を総合的に評価します。

（超然文学選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、文学的に特異な才能を活かして社会的な

課題の解決に取り組む意欲を総合的に評価します。

■在外留学生推薦入試

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、本学入学後の勉学意欲や先導科学類（仮称）への適性を総合的に評価します。

■社会人選抜

小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価します。口述試験（プレゼンテーションを含む）では、多面的な質問を行い、勉学意欲や先導科学類（仮称）への適性を評価し、実務経験での努力のプロセス及び志願理由書等の書類を含めて多面的・総合的に審査します。

■帰国生徒選抜

数学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により理解度、勉学意欲、基本的知識等を多面的・総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

出願資格に定める国際バカロレア資格の要件充足に加え、小論文課題の論述により、基礎的知識、思考能力、論述能力等を評価し、口述試験（プレゼンテーションを含む）では、理解度、勉学意欲、基本的知識等を、多面的・総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力を重視するとともに、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、コミュニケーション能力、勉学意欲及び本学での学びに必要な能力・資質を、多面的・総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

様々な教科・科目について偏りなく学習し、到達度をより高めておくことが必要です。

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に理解しようとする態度を有する人
- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針

■一般選抜

大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と英語の能力、そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■KUGS 特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストにより基礎学力を評価するとともに、口述試験により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲・コミュニケーション力等を評価し、小論文課題により文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜、超然文学選抜）

口述試験（プレゼンテーションを含む）により高校時代の学習成果・大学での勉学への意欲と関心・人文学で学習を進めるのに必要な資質等を評価し、小論文により論理的思考能力・表現力を評価します。

■帰国生徒選抜

国語と外国語の試験及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。

■国際バカロレア入試

国際バカロレアのディプロマスコア及び口述試験により外国語能力・表現力・意欲等を重点的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本留学試験、TOEFL、国語の試験及び口述試験により知識・表現力・意欲等を重点的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、このような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材／法学類共通

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

求める人材／KUGS 特別入試（総合型選抜）

- ・コミュニケーション能力（とくに、人の話を正確に理解し、自分の意見を論理的に述べる能力）が優れている人
- ・課題や仕事に率先して取り組む意欲や責任感のある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加えて、外国語、国語及び数学の能力を重視して評価します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、出願書類等を参考に口述試験を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲はあるかなどを総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類等を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を通じて、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか、自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかなどを総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

国語能力に加え、口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、自主的に課題を発見し解決する意欲があるか、国際化に対応するために必要な表現力とコミュニケーション能力を修得してグローバルに活躍する意欲があるか、などを提出書類等及び口述試験の結果により総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語能力及び英語能力に加え、日本語による口述試験を通じて、大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか、他者の考えを理解し自分の意見を論理的に表現する能力はあるか、日頃から社会問題に対する関心を有しているか、などを総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること
- ・社会の数量分析や論理的思考のために必要な数学の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成

を目指し、一般選抜に加えて、高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とするKUGS特別入試、及び超然特別入試・帰国生徒選抜・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、国語・数学・外国語の能力を重視します。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、平素の学習活動や大学入学後の計画等を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に加え、社会的課題の解決に取り組む意欲等を重視します。

■帰国生徒選抜

現代の文化・社会・経済に関する文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、高校時代における体験や大学入学後の計画等を重視します。

■国際バカロレア入試

現代の文化・社会・経済に関する日本語の文章を理解する能力、論理的思考力、表現力に加え、社会的課題解決への意欲、国際的に活躍する熱意や大学入学後の計画等を重視します。

■私費外国人留学生入試

日本語の文章に関する理解力、論理的思考力、表現力に加え、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎的知識等を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語及び情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済及びそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことを望みます。

【学校教育学類】

激しく変動するグローバル社会の中で、これからの学校教育における新たな学びを支える教師には、教科や教職に関する専門的な知識及び実践的指導力に加え、絶えず自律的に学

び続け、学校を取り巻く現代社会の変化や諸問題を的確に把握し、使命感を持って課題解決にあたる姿勢が求められます。また、様々な社会的背景を持った多様な子どもたちに向き合い、より深く、共感的に理解しつつ、子どもの発達等に関する専門的知見を踏まえながら、一人一人の子どもたちのニーズに応じた対応が求められます。

学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標としており、専門職としての教師への熱意にあふれ、かつ地域における文化の形成に寄与する人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

- ・自立した専門職としての教師を目指す人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の考えを表明し、他者との対話を通じて、反省的に自己を形成していこうとする人
- ・教育を通じて、地域社会の再生と発展に貢献しようとする意志を持っている人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、英語、国語、数学、理科、総合問題の中から、3科目を選択する個別学力検査（英語と国語又は英語と数学を必修とする）を課し、多元的に評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

〈石川県教員希望枠〉

基礎学力及び勉学意欲ならびに、石川県で教職に就くことへの熱意、資質・適性等を総合的に評価します。

〈専修枠〉

【美術教育専修】

基礎学力、課題に対する表現力、美術における基礎知識と論理的思考力、教職及び美術教育に対する熱意と抱負を総合的に評価します。

【保健体育専修】

基礎学力及び高校時代のスポーツ活動実績、教育や体育・スポーツに関わる勉学意欲と資質等を総合的に評価します。

【家政教育専修】

基礎学力及び家政教育に対する勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

【特別支援教育専修】

基礎学力、課題に対する思考能力と論述能力、勉学意欲や資質等を総合的に評価します。

（学校推薦型選抜）

〈専修枠〉

【国語・社会科・英語教育専修】

基礎学力及び勉学意欲、人文・社会科学への関心、教

職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【数学・理科教育専修】

基礎学力及び勉学意欲、自然科学への関心、教職への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

【音楽教育専修】

基礎学力及び演奏技術、表現力、ソルフェージュ能力、楽典の基礎的知識、志望動機、教職及び音楽に対する熱意と抱負等を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）

文学又は数学を介した教育への意欲・資質・適性等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

学習意欲や資質、学校教育に関する課題意識や基礎知識について総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力及び本学類としての適格性を評価します。なお、本学類は日本における義務教育段階の諸学校の教師を養成することを主たる目的とします。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから、次の3点を望みます。

- ・小学校・中学校・高等学校及びそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに、新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の4つのコースがあります。2年次から本人の希望、適性、学業成績等を考慮して各コースに所属します。

求める人材

- ・大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語を評価します。

■ KUGS特別入試（総合型選抜）

地域創造学類では、基礎学力に加え、口述試験により地域創造に関わる学習への意欲や事象への関心、大学入学後の主体的な学習・研究への計画や積極性、授業を理解するための基礎知識や思考力・判断力・表現力、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■ 帰国生徒選抜

小論文課題から、地域創造に関わる課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を評価し、成績証明書（調査書）及び口述試験により、大学入学後の計画、授業を理解するための基礎知識、大学での経験を踏まえた将来の希望等をあわせた総合的な評価をします。

■ 国際バカロレア入試

口述試験では、地域創造に関わる課題への多面的な質問をおこない、基礎的知識、思考力・表現力、勉強意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

■ 私費外国人留学生入試

小論文課題を論述することにより、基礎的知識・思考能力・論述能力等を総合的に評価します。口述試験では、多面的な質問をおこない、勉強意欲や地域創造学類への適性を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の各コースにおいて、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また、地域の諸問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感力、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあり、また、国際社会、米英の両コースには、英語だけで卒業できる英語プログラムもあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人

用能力を高めるために、努力を惜しまない人

- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

■ 一般選抜

基礎学力に加え、国語・英語の学力と数学の学力又は総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。なお、大学入学共通テストの「英語」については、4技能をみる所定の英語外部試験のスコアを提出することができます。

■ KUGS特別入試（総合型選抜）

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等の書類を総合的に審査します。第2次選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書、高大接続プログラム提出課題等も口述試験の際の参考とします。

■ 超然特別入試（A-lympiad選抜、超然文学選抜）

出願資格及び出願要件を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験（プレゼンテーションを含む）では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、志願理由書、活動報告書等も口述試験（プレゼンテーションを含む）の際の参考とします。

■ 帰国生徒選抜

第1次選考では、4技能をみる所定の英語外部試験のスコア及び成績証明書（調査書）、推薦書、志願理由書の書類を総合的に審査します。最終選考では口述試験を行います。口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、調査書、推薦書、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■ 国際バカロレア入試

出願資格を満たした上で、自主的に課題を発見し解決する意欲を有し、国際交流に必要な表現力と英語を中心とした外国語コミュニケーション能力を修得して世界に向けて活躍する熱意を有する人を求めます。

口述試験では、論理的な思考や国際コミュニケーション能力、国際問題への関心などを中心に総合的に判定します。なお、志願理由書も口述試験の際の参考とします。

■ 私費外国人留学生入試

パターンAでは英語及び日本語の文章を読ませ、それに関する問いに日本語で答えさせます。これによって、英語の知識とともに、社会・文化についての知識や論理的思考力及び日本語能力を総合的に評価します。また、

口述試験では、基礎知識や日本語によるコミュニケーション能力、勉学意欲を十分に有しているかを判断し、日本留学試験の成績や所定の英語外部試験のスコアと合わせて、総合的に判定します。パターンBでは英語による文章を読ませ、それに関する問いに英語で答えさせます。これによって、社会・文化についての知識や論理的思考力及び英語能力を総合的に評価します。また、口述試験では、基礎知識や英語によるコミュニケーション能力、勉学意欲を十分に有しているかを判断し、日本留学試験の成績や所定の英語外部試験のスコアと合わせて、総合的に判断します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では、グローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために、本学入学前に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得しておくことを望みます。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで志願者には、日本理解の基礎として「日本語」(国語)及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。ただし、私費外国人留学生入試志願者で、英語プログラムを希望する場合は、日本語能力を必要としません。国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことも望みます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えてグローバル・イシューに係る様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なものの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、製造・開発、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年次から数学系と物理系の基礎プログラムのどちらかを選択し、より専門的な内容の学修へと進みます。両基礎プログラムには共通する科目も用意され、進路選択の参考になるように工夫しています。3年次からは、さらに専門性を高めた発展プログラム群の学修へと学習段階を上げて行きます。発展プログラムとして、数学、応用数理、計算科学、物理学を用意し、各分野の専門家になるための学習が可能になっているとともに、各プログラムには共通する科目も用意し、広い分野に興味を持つ

て学習できるように工夫しています。基礎プログラム、発展プログラムともに人数制限は設けられておらず、各自の適正や興味に応じて自由にプログラム選択できるのも大きな特色の一つです。

数物科学類では、数学・物理学の基礎に加えて計算機の技術も学ぶことでバランスのとれた力を身につけることができる特徴があります。科学の基礎分野における問題意識や基本原理を学び、様々な数理・自然現象を説明することができること、最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力を身につけること、コミュニケーション能力や表現能力、種々の自然現象を数学・物理の原理に基づいて分析し計算機の助けを借りて解析し、自ら課題を発見して論理的考察を行い、科学的実証により問題を解決することを重視します。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを用いた科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、応用数学、計算科学、物理学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

数物科学類にとっての基本的科目の学力を重視するとともに、課題レポートや口述試験により志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組むための能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、基本的知識等を総合的に評価します。

■国際バカロレア入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科の学力を重視するとともに、口述試験により理解度、勉学意欲、資質等を総合的に評価します。

■私費外国人留学生入試

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・物理の学力及び日本語・英語の語学力を重視するとともに、口述試験により日本語能力、勉学意欲、資質を総合的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目(数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民)又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理の理解、新しい機能性物質の創製、さらに生活を支える化学製品の開発・製造から持続発展可能なエネルギー・環境技術の実現に至る幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、現代社会の諸問題を解決できる創造力と技術力を身に付けた優れた研究者・技術者を養成するためにプログラム制カリキュラムを採用しています。コアプログラムで基礎学力を修得後、主題ごとに体系化された6つのアドバンストプログラムから複数のプログラムを選択履修することで、化学の基本原理の探求と応用技術の創造に挑戦する力を身に付けることができます。

“独創性や観察力など独自に考える力”をもち“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、思考能力と論述能力、化学分野の勉学意欲及び資質などを評価します。

■帰国生徒選抜

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

物質化学にとっての基本的科目である化学・数学の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、化学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

化学・数学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、大学の授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。

また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した应用能力を涵養し、先端的教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・自ら創造的に課題を解決しようとする意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

大学入学共通テストで基礎学力を評価するとともに、口述試験により、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、論理的思考力、表現力などを評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞、及び、成績証明書（調査書）による基礎学力を参考にし、口述試験（プレゼンテーションを含む）により、論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、社会的課題の解決に取り組む意欲等を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視

するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を評価するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、様々な事象に対して探求力を高めることを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせで履修します。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入してお

り、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野の高いレベルの学力、フロンティア工学類に対する理解と勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術者を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取組みたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類

の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

出願書類、高大接続プログラム課題等を参考にした口述試験により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価するとともに、大学入学共通テストにより基礎学力を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考にした口述試験（プレゼンテーションを含む）により、本学類への勉学意欲及び能力・資質を評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、物理及び英語の学力を重視するとともに、成績証明書（調査書）により基礎学力を評価します。

■国際バカロレア入試

理系基礎科目である数学・物理の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、日本語によるコミュニケーション能力、工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことを望みます。また、一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を活かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等

を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人
- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力も評価します。

■KUGS特別入試

（総合型選抜）

大学入学共通テストと成績証明書（調査書）により基礎学力を評価し、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

（学校推薦型選抜）

出身学校長が責任を持って推薦する優秀な人物について、地球惑星科学に対する志向の明確さと勉学意欲及び資質を評価します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、理工学分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。

■国際バカロレア入試

地球惑星科学及び社会基盤工学の基礎となる数学、物理及び化学の学力を重視し、成績評価証明書等により評価します。また、口述試験により、地球惑星科学若しくは社会基盤工学の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、理系基礎科目である数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、口述試験により、学類での授業を理解するための基礎知識、日本語によるコミュニケーション能力、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくことが必要です。特に、理系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておくことが必要です。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海や世界の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファインリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え、国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力を重視します。

■KUGS特別入試（総合型選抜）

基礎学力に加え、高校等での課題研究や自主的な取り組みでの成果や、「海洋生物資源学、水産増養殖学、魚類生理学、生態学、保全生物学、環境学など」への関心を評価します。評価に当たっては、出願書類や口述試験（プレゼンテーションを含む）を重視します。

■超然特別入試（A-lympiad選抜）

出願書類を参考に口述試験（プレゼンテーションを含む）を行い、特定分野における傑出した能力、社会的課題の解決に取り組む意欲、生命科学の基礎研究若しくは応用研究への関心などを評価します。

■帰国生徒選抜

基礎学力に加え、数学、理科、英語の学力を評価します。加えて、成績証明書（調査書）等提出された書類により総合して評価します。

■国際バカロレア入試

生命理工学にとっての基礎となる数学・理科の学力を成績評価証明書により評価するとともに、口述試験により、理工学分野の勉学意欲及び資質を評価します。

■私費外国人留学生入試

数学、理科、英語の学力を評価します。日常生活に必要な日本語の読解・筆記能力も重視します。口述試験では、学類での授業を理解するための基礎知識や勉学意欲、コミュニケーション能力などを評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておいてください。生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師として成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

なお、外国人留学生については、医師国家試験が日本語で行われる関係上、相応の日本語能力を求めます。

選抜の基本方針

選抜の方法としては筆記試験、口述試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置き、筆記試験においてその能力を測ります。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を口述試験で評価します。

加えて、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材養成を目的とする学校推薦型選抜の特別枠では、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とします。

【薬学類】

薬学類は、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献する多様な「薬（くすり）専門人」の養成を基本理念とし、以下のような人材の養成を目指します。第一に、次代の薬学教育・薬学研究を担う、博士（薬学）の学位と薬剤師資格を併せ持つ「大学教員」、がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで、革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等、薬学高度専門人材の養成を本学類の使命として特に重視します。第二に、超高齢社会、超過疎化、情報通信技

術革新、国際化など、時代の急速な変化に対応して、人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる多様な「薬学プロ人材」を養成します。第三に、薬学の知識のみならず多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき、問題解決能力を身に付けた「主導的薬剤師」を養成します。

一般選抜の入学者は、基礎・専門科目やキャリア形成科目群の学修を通して、自らの適性と使命を見極めた上で進路を決定していく教育システムを取っていますが、中でも本学では大学院博士課程（4年制）への進学を強く推奨します。薬学類・高大院接続入試の入学者には、大学院博士課程修了までの一貫した教育を導入しています。

求める人材／薬学類共通

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・健康や医療に関する諸課題に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献したい人
- ・国内外の大学において、健康増進や医療の進歩につながる学術研究を推進するとともに、次代の薬学教育を担う大学教員を目指す人
- ・国内外の研究機関において、革新的医薬品の創出に資する先進的な基礎研究に携わる薬学研究者を目指す人
- ・薬剤師資格を持ち、他の専門性も身に付けた「薬学プロ人材」として、国内外の幅広い健康・医療分野で活躍することを目指す人
- ・医療現場で医師、看護師等の他職種の医療従事者と連携しながら、薬剤師を統率する主導的薬剤師（基幹病院の薬剤部長等）を目指す人

求める人材／薬学類・高大院接続入試

- ・上記に加えて、薬学や健康・医療に関連する分野を深く主体的に学ぶことに意欲が高く、大学院医薬保健学総合研究科・薬学専攻博士課程（4年制）まで進学し、将来、国公立・私立大学の薬学関連の教員・研究者として、世界をリードする最先端研究を行いながら、次代の人材育成に積極的に取り組むことを目指す人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目における秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

■薬学類・高大院接続入試

知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力及び主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について評価し、特に以下の（1）～（4）を重視します。（1）は書類審査及び大学入学共通テストの得点、（2）～（4）は書類審査、小論文及び口述試験で評価を行い、薬学類・高大院接続入試で求める人材であるかどうか、総合的に判断します。

- （1）必要な基礎学力を備えているか
- （2）将来への目的意識が明確で、そこへ向かう意欲・資質を有するか
- （3）本質を理解しようとする探究心や洞察力を持ち、自主的・主体的に問題を見出して解決することに積極的か
- （4）本学における博士課程までの一貫した学修を強く希望しているか

■帰国生徒選抜

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素

質・適性・学力を口述試験により評価します。

■国際バカロレア入試

素質・適性・高いレベルの基礎学力、特に理数科目における秀でた学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

■私費外国人留学生入試

授業を理解するための高い学力を個別試験により、素質・適性・学力ならびに日本語能力を口述試験により評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数科目と英語の高い基礎学力と理解力が必須です。また、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題について、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【医薬科学類】（仮称）

「医薬科学類（仮称）」は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。本学類には、生命医科学と創薬科学の2つのコースがあり、1年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後、コースに分かれて各専門性を深化させ、大学院博士前期・後期課程に進学して、医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。「生命医科学コース」では、薬学の基礎的知識も備えた、基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を、「創薬科学コース」では、医学の基礎的知識も備えた、基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。各コースへの配属は、2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

本学類では、以下に示す人材を広く求め、特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて、将来、世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。

求める人材

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・基礎医学及び基礎薬学を広く学び、生命医科学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人
- ・将来、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校で学ぶ教科全般についての基礎的知識と、特に数学、理科、英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。

■超然特別入試（A-lympiad 選抜）

「日本数学 A-lympiad」における受賞及び調査書を参考にして、理数系分野及び英語の高いレベルの学力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験（プレゼンテーションを含む）によって総合的に評価します。

■帰国生徒選抜

学類での授業を理解するための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、医薬分野の勉学意欲及び資

質等を口述試験によって評価します。

■国際バカロレア入試

数学、物理、化学の学力を成績評価証明書により評価し、理数系分野の知識及び英語の高いレベルの学力、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

■私費外国人留学生入試

日本語の聴解・読解力に加え、数学、物理、化学及び英語の学力を重視するとともに、学類での授業を理解するための学力を個別学力検査により評価し、理数系分野の知識、日本語によるコミュニケーション能力、医薬分野の勉学意欲及び資質等を口述試験によって評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また、先進的な医療や医薬品に関して、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健及び福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、※保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

※保健師課程については、平成26年度入学生から選択制としています。保健師として将来就職を希望する学生（最大50名：学類学生45名、編入学生5名）で、所定の科目を履修し、その単位を修得した者のみが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【放射線技術科学専攻】

放射線技術科学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療

機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の放射線技術科学を担う課題探求能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人
- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人

- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高めて、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、看護学・放射線技術科学・検査技術科学の3専攻は数学・理科及び英語の学力、理学療法学・作業療法学の2専攻は理科及び英語の学力を重視します。なお、理学療法学・作業療法学は2専攻併願で実施し、出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。

■KUGS特別入試（学校推薦型選抜）

基礎学力に加え、口述試験で医療人としての適性の評価並びに調査書等の出願書類による総合評価をします。

■帰国生徒選抜

理科と英語の学力に加え、成績証明書（調査書）による総合評価をします。

■国際バカロレア入試

口述試験により理系能力及び医療人としての適性の評価並びに提出書類（志願理由書）等による総合評価をします。

■私費外国人留学生入試

学力検査により本学類の修学上に必要な基礎学力を有しているかを評価し、口述試験を通じて、志願者の日本語能力（対人コミュニケーション能力を含む）、英語能力及び本学類で修学することや医療人として職務を遂行することの適格性及び適性を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【放射線技術科学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことを望みます。また、文章を正確に読解し、事象に応じて的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修を望みます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

《一括入試》

【文系一括、理系一括】

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ、入学後の学修、研究に必要な基礎学力を有し、さらに豊かな教養の涵養、高い専門性の修習を目指す学生が入学することを期待します。

特に文系一括、理系一括入試においては、様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち、幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり、かつ、積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

一括入試で入学した学生は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を、理系の場合は自然科学に関する分野を広く学び、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、文系の場合は融合学域（仮称）又は人間社会学域の中から、理系の場合は融合学域（仮称）、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類（仮称）、保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

求める人材

- ・多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- ・幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- ・積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- ・リーダーシップと協調性を持つ、あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- ・意思決定に伴う責任を自覚した上で、客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

選抜の基本方針

■一般選抜

文系一括入試では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

理系一括入試では、数学及び英語の基礎学力に加え、

物理又は化学の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。

2 募集人員

学域・学類等		入学 定員	募 集 人 員														
			一般選抜			特別選抜											
			前期日程	一括入試	KUGS特別入試			超然特別入試		薬学類・ 高大院 接続 入試	在外 留学生 推薦 入試	社会人 選抜	帰国 生徒 選抜	国際 バカロ レア 入試	私費 外国人 留学生 入試		
総合型 選抜	学校 推薦型 選抜	英語 総合 選抜			A- lympiad 選抜	超然 文学 選抜											
(融合 学域 仮称)	先導科学類 (仮称)	55	40 (文系傾斜 理系傾斜 20 20)	文系	68	Ⅱ 2	—	Ⅱ 2	若干名	若干名	—	5	若干名	若干名	若干名	若干名	
	人文学類	141	123			Ⅱ 5	—	—	若干名	若干名	—	—	—	若干名	若干名	若干名	
法学類	160	135	Ⅱ 10			—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
経済学類	131	106	—			Ⅰ 10	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
人間社会学域	学校教育学類	85	58			移行人数 (先導科学類(仮称) 3 人文学類 13 法学類 15 経済学類 15 学校教育学類 2 地域創造学類 10 国際学類 10)	Ⅱ 18 県教員 3 専修 梓 専修 梓 (美術 3 数理 1 保体 5 家政 3 特支 4)	Ⅱ 7 専修 梓 (国社英 2 音楽 4)	—	若干名	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名
	地域創造学類	88	63			Ⅱ 15	—	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名	
	国際学類	83	53			Ⅰ 20	—	—	若干名	若干名	—	—	—	若干名	若干名	若干名	
	計	688	538			68	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	理工学域	数物科学類	82			71	Ⅱ 3	—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名
		物質化学類	79			69	Ⅱ 3	—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名
		機械工学類	97	239 (理工3学類一括入試)	Ⅱ 3	—	—	若干名	—	—	—	—	—	—	—		
フロンティア工学類		107	移行人数 (機械工学類 84 フロンティア工学類 87 電子情報通信学類 68)	—	—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
電子情報通信学類		78	68	Ⅱ 3	—	—	若干名	—	—	—	—	—	—	—			
地球社会基盤学類		98	80	Ⅱ 3	Ⅱ 5	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
生命理工学類		58	49	Ⅱ 3	—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
計		599	508	18	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
医薬保健学域		医学類 (6年制)	112	84	—	Ⅱ 27	—	—	—	—	—	—	若干名	—	若干名		
		薬学類 (6年制)	65	53	—	—	—	—	—	10	—	—	若干名	若干名	若干名		
	医薬科学類 (仮称)	18	18	—	—	—	若干名	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名			
	保健学類	看護学専攻	79	64	—	Ⅱ 14	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
		放射線技術科学専攻	40	36	—	Ⅱ 3	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
		検査技術科学専攻	40	32	—	Ⅱ 6	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
		理学療法学専攻	15	20 (理学・作業併願入試)	—	Ⅱ 5	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
		作業療法学専攻	15	10 (理学療法学専攻 作業療法学専攻 10 10)	—	Ⅱ 5	—	—	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名		
		小計	189	152	—	33	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		計	384	307	—	60	—	—	—	10	—	—	—	—	—		
		合計	1,726	1,393	146	88	82	2	—	—	10	5	—	—	—		

- (注) 1. 先導科学類(仮称)及び医薬科学類(仮称)は設置認可申請中であるため、変更することがあります。
2. 前期日程の募集人員には、超然特別入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試の募集人員も含まれます。後期日程では募集しません。
3. 特別選抜の合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。
4. 一括入試入学者の移行先は、文系一括入試においては、融合学域(仮称)及び人間社会学域各学類とし、理系一括入試においては、融合学域(仮称)、理工学域及び医薬保健学域各学類(医薬科学類(仮称)、保健学類理学療法専攻・作業療法専攻を除く)とします。各学域・学類への移行は2年次からとします。また、1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属します。
5. 先導科学類(仮称)の文系傾斜及び理系傾斜は受験教科・科目が異なります。詳細は30ページを確認してください。
6. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般選抜(前期日程)は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
7. 保健学類の理学療法専攻、作業療法専攻の一般選抜(前期日程)は、2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また、専攻別に合格者を発表します。
8. KUGS特別入試において、Iは大学入学共通テストを課さない入試、IIは大学入学共通テストを課す入試を指します。
9. 学校教育学類の総合型選抜IIにおける石川県教員希望卒の入学後の各専修への配属は一般選抜と同様に2年次からとします。また、学校推薦型選抜IIにおける専修枠「国語・社会科・英語教育専修」及び「数学・理科教育専修」のそれぞれの専修への配属についても2年次からとします。
10. 地球社会基盤学類の学校推薦型選抜IIは、地球惑星科学コースで実施します。
11. 生命理工学類の総合型選抜IIは、海洋生物資源コースで実施します。

3 入学者選抜試験日程

区 分		学 類	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 者 発 表
一般選抜 (前期日程)		全学類	令和3年 1月25日(月)～2月5日(金)	令和3年 2月25日(木), 26日(金)*	令和3年3月10日(水)
K U G S 特 別 入 試	総合型選抜Ⅰ	国際学類	令和2年 11月2日(月)～9日(月)	1次選考〔書類選考〕 令和2年11月24日(火) 最終選考 令和2年12月5日(土)	1次選考 令和2年11月27日(金) 最終選考 令和2年12月21日(月)
	総合型選抜Ⅱ	数物科学類 物質化学類 機械工学類 電子情報通信学類 生命理工学類		1次選考〔書類選考〕 令和2年11月24日(火) 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合行う 最終選考 令和2年12月5日(土)	1次選考 令和2年11月27日(金) 最終選考 令和3年2月16日(火)
		地球社会基盤学類		令和2年12月5日(土)	令和3年2月16日(火)
		先導科学類(仮称) 人文学類 法学類 学校教育学類 地域創造学類			
		学校推薦型選抜Ⅰ			
	学校推薦型選抜Ⅱ	学校教育学類 地球社会基盤学類 保健学類			令和3年2月16日(火)
		医学類			令和2年 12月14日(月)～18日(金)
	英語総合選抜Ⅱ	先導科学類(仮称)	令和2年 11月2日(月)～9日(月)	令和2年12月5日(土)	令和3年2月16日(火)
超 然 特 別 入 試	A-lympiad選抜	先導科学類(仮称) 人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 国際学類 理工学域全学類 医薬科学類(仮称)	令和2年 11月2日(月)～9日(月)	令和2年12月5日(土)	令和2年12月21日(月)
	超然文学選抜	先導科学類(仮称) 人文学類 学校教育学類 国際学類			
薬学類・高大院接続入試		薬学類	令和3年 2月1日(月)～4日(木)	1次選考〔書類選考〕 令和3年2月9日(火) 最終選考 令和3年2月12日(金)	1次選考 令和3年2月10日(水) 最終選考 令和3年2月16日(火)
在外留学生推薦入試		先導科学類(仮称)	令和2年 11月2日(月)～9日(月)	令和2年12月5日(土)	令和2年12月21日(月)
社会人選抜		先導科学類(仮称)			
帰国生徒選抜	経済学類	国際学類		1次選考〔書類選考〕 令和2年11月24日(火) 最終選考 令和2年12月5日(土)	1次選考 令和2年11月27日(金) 最終選考 令和2年12月21日(月)
	国際学類				
	国際バカロレア入試		先導科学類(仮称) 人間社会学域全学類 理工学域全学類 薬学類 医薬科学類(仮称) 保健学類	令和2年 11月2日(月)～9日(月)	令和2年12月5日(土)
私費外国人留学生入試		先導科学類(仮称) 経済学類 学校教育学類 国際学類 理工学域全学類	令和3年 1月18日(月)～22日(金)	令和3年 2月25日(木), 26日(金)*	令和3年1月20日(水)
		人文学類 法学類 地域創造学類 医薬保健学域全学類			令和3年3月10日(水)

※選抜期日は学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

4 入学者選抜方法等の概要

1 一般選抜

学域・学類等			選抜方法等	個別学力検査等							卒業生選抜	専門高校・総合学科	備考 〔欠員の補充の方法等〕	
				個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜					
					実技検査を課す	口述試験を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	主として、大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数				
										定員に対する倍率				その他
融合学域 (仮称)	先導科学類 (仮称)	文系傾斜	○	×	×	○ ^{*1}	×	×	×	×	×			
		理系傾斜				×								
人間社会学域	人文学類		○	×	×	○ ^{*1}	×	×	×	×	×			
	法学類					×								
	経済学類					○ ^{*1}								
	学校教育学類					×								
	地域創造学類					○ ^{*1}								
理工学域	数物科学類		○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	物質化学類													
	機械工学類													
	フロンティア工学類													
	電子情報通信学類													
	地球社会基盤学類													
医薬保健学域	生命理工学類		○	×	×	×	×	×	×	×	×			
	医学類													
	薬学類													
	医薬科学類 (仮称)													
	保健学類	看護学専攻										×		
		放射線技術科学専攻												
		検査技術科学専攻												
理学療法学専攻														
作業療法学専攻														
一括	文系一括	○	×	×	○ ^{*1}	×	×	×	×	×				
	理系一括				×									

- (注)
- 印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。
 - 一括入試入学者の各学域・学類への移行は2年次からとします。また、1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属します。
 - 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般選抜は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
 - 保健学類の理学療法学専攻、作業療法学専攻の一般選抜は、2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また、専攻別に合格者を発表します。
 - ^{*1}は総合問題を課すことを示します。ただし、先導科学類(仮称)の文系傾斜、学校教育学類及び国際学類では選択科目です。
 - 実施教科・科目等については、28～36ページで確認してください。

2 特別選抜

学域・学類等		KUGS特別入試（総合型選抜，学校推薦型選抜，英語総合選抜）																備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		総合型選抜							学校推薦型選抜						英語総合選抜																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		学入学共通テストを課す	個別学力検査を免除し，大学入学共通テストを課す	実技検査等					学入学共通テストを課す	個別学力検査を免除し，大学入学共通テストを課す	共通テストを免除する	実技検査等				学入学共通テストを課す	個別学力検査を免除し，大学入学共通テストを課す		共通テストを免除する	実技検査等			その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				実技検査を課す	口述試験を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	その他				実技検査を課す	口述試験を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す					その他	実技検査を課す	口述試験を行う		小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
選抜方法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				</

- (注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。また、実施しない選抜は網掛けにしています。
2. ○※1の融合学域先導科学類（仮称）の英語総合選抜では総合問題（英語）を課します。
3. ○※2の人間社会学域経済学類の学校推薦型選抜では、TOEIC（L&R）のスコアを判定の資料とするため、スコアの提出を課します。
4. ○※3の人間社会学域学校教育学類音楽教育専修の学校推薦型選抜では、筆記試験を課します。
5. ○※4の人間社会学域学校教育学類美術教育専修の総合型選抜では、作品の提出を課します。
6. ○※5の人間社会学域国際学類の総合型選抜では、英語外部試験（ケンブリッジ英語検定（リングスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、IELTS、TEAP（4技能又はCBT）、TOEFL iBT（Special Home Edition含む）のいずれか）のスコアを判定の資料とするため、スコアの提出を課します。
7. 地球社会基盤学類の学校推薦型選抜は地球惑星科学コースで実施します。
8. 生命理工学類の総合型選抜は、海洋生物資源コースで実施します。
9. 募集人員、出願要件、選抜方法等については、38～72ページで確認してください。

学域・学類等		超然特別入試		薬学類・高大院接続入試	帰国生徒・社会人等のための選抜			在外留学生推薦入試	国際バカロレア入試	私費外国人留学生入試	その他の入試
		A l l y m p i a d 選 抜	超然文学選抜		帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人				
融合学域 (仮称)	先導科学類（仮称）	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
	人間社会学域										
人間社会学域	人文学類		○								
	法学類		×		○						
	経済学類	○		×		×	×	×	○	○	×
	学校教育学類		○		×						
	地域創造学類	×	×		○						
	国際学類	○	○								
理工学域	数物科学類										
	物質化学類										
	機械工学類										
	フロンティア工学類	○	×	×	○ ^{*1}	×	×	×	○ ^{*1}	○ ^{*1}	×
	電子情報通信学類										
	地球社会基盤学類										
	生命理工学類										
医薬保健学域	医学類	×		×					×		
	薬学類			○							
	医薬科学類（仮称）	○									
	保健学類		×	×	○	×	×	×	○	○	×
	看護学専攻										
	放射線技術科学専攻	×									
	検査技術科学専攻										
	理学療法学専攻										
	作業療法学専攻										

- (注) 1. ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。
 2. ○^{*1}の機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の帰国生徒選抜、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
 3. 薬学類・高大院接続入試は、大学入学共通テストを課します。
 4. 募集人員、出願要件、選抜方法等については、73～90ページで確認してください。

3 英語外部試験スコア提出における注意事項（全選抜共通）

- (1) 本学では英語外部試験運営機関のオンライン成績ダウンロードシステムを利用することにより（TOEIC 除く）、出願時にはスコア原本の提出を不要としますが、スコアの写しの提出が必要です。原本を提出した場合は返却しません。
- (2) 本学選抜期日（2日に渡る選抜は選抜初日）から遡って2年以内に受験したスコアに限ります。
- (3) ケンブリッジ英語検定のスコアを提出する場合は、成績確認 Web サイトから本学を試験結果の共有先に指定してください。
- (4) ケンブリッジ英語検定リングスキルのスコアを提出する場合、Best スコアは認めません。Test Report に受験日のスコアのみが表示されるように依頼してください。
- (5) 実用英語技能検定（英検）については、級や可否にかかわらず、CSE スコアにて判定します。ただし、英検 Jr. 及び英検 IBA は除きます。必ず4技能の CSE スコアが表示されているスコアを提出してください。
- (6) IELTS のスコアを提出する場合は、マイページから電子送信システム（STED RO）にて本学へ成績証明書を送付するよう依頼してください。

＜送付先＞

金沢大学学務部入試課

要望欄に「電子送信希望」と入力すること。

- (7) TOEFL iBT のスコアを提出する場合は、本学へ Institutional Score Report（旧名：Official Score Report）を送付する手続きを行ってください。

金沢大学 Institution Code：8408

- (8) 経済学類の学校推薦型選抜Ⅰの志願者は、TOEIC（L & R）の公式認定証直送を依頼の上、協会から届いた直送依頼書受領通知レターの写しも併せて提出してください。

＜送付先＞

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学学務部入試課入学試験係

5

一般選抜（前期日程）

入学者の選抜は、分離・分割方式（前期日程）で行い、大学入学共通テスト並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般選抜は、配点比率を示した大学入学共通テストと個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため調査書を活用します。

なお、追選考の詳細については、11月上旬公表予定の一般選抜（前期日程）学生募集要項を確認してください。

1 実施日程

(1) 大学入学共通テスト

大学入学共通テスト実施日……………令和3年1月16日（土）、17日（日）

令和3年1月30日（土）、31日（日）

(2) 個別学力検査

項 目	前 期 日 程
出 願 期 間	令和3年1月25日（月）～2月5日（金） （Web出願システムは、令和3年1月18日（月）から事前登録可能）
2 段階 選 抜 の 第 1 段階 選 抜 合 格 者 発 表 日	2月16日（火） ※医薬保健学域医学類のみ
学力検査等実施日	2月25日（木）、26日（金） ※26日（金）は一部の学類のみ
合 格 者 発 表 日	3月10日（水）
入 学 手 続 期 間	3月15日（月）まで

2 出願資格

次のいずれかに該当し、令和3年度大学入学選抜大学入学共通テストにおいて、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目（28～36ページ「3 入学選抜の実施教科・科目等」）を受験した者※

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

【注】 上記（4）により出願しようとする場合は、個別の入学資格審査を行いますので、本学Web サイトの「金沢大学入学資格審査申請要領」により申請してください。

本学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/sinsa/>

※ 大学入学共通テストにおいて、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験できません。

〔参考〕学校教育法施行規則第 150 条

学校教育法第 90 条第 1 項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

※学校教育法施行規則第 150 条第 4 号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE A レベル）資格取得者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。次の表で確認してください。

○出願に必要な GCE A レベル資格の科目数及び評価（前期日程）

学域・学類等		必要な科目数及び評価
融合 学域 (仮称)	先導科学類（仮称）	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	人文学類	
人間 社会 学域	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「生物」、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」のうち 2 科目を含むものとする。
	国際学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
理工 学域	数物科学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類 (理工 3 学類一括入試)	
	地球社会基盤学類	
医薬 保健 学域	生命理工学類	
	医学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「数学」1 科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち 2 科目の計 3 科目を含むものとする。
	薬学類	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の 3 科目を含むものとする。
	医薬科学類（仮称）	A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
保健学類		A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。
「文系一括、理系一括」入試		A レベル試験を 3 科目以上合格（E 評価以上）していること。

3 入学者選抜の実施教科・科目等

【留意事項】

1. 教科、科目名は、次のとおりカッコ内の語を略記しています。

国 語……国（国語）、国総（国語総合）

地理歴史……地歴（地理歴史）、世A（世界史A）、日A（日本史A）、世B（世界史B）、日B（日本史B）

公 民……現社（現代社会）、倫（倫理）、政経（政治・経済）、倫・政経（倫理、政治・経済）

数 学……数（数学）、数Ⅰ（数学Ⅰ）、数Ⅱ（数学Ⅱ）、数Ⅲ（数学Ⅲ）、数A（数学A）、数B（数学B）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）

理 科……理（理科）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地基（地学基礎）

外 国 語……外（外国語）、英（英語）、コ英Ⅱ（コミュニケーション英語Ⅱ）、コ英Ⅲ（コミュニケーション英語Ⅲ）、英表Ⅰ（英語表現Ⅰ）、英表Ⅱ（英語表現Ⅱ）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）

2. 大学入学共通テストの「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

3. 個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」それぞれの全範囲を出題範囲とします。

「数学B」……………「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」……………「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」……………「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。

「生物基礎・生物」……………「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。

「地学基礎・地学」……………「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

4. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等については次のとおりです。

- (1) 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

- (2) 大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。）

また、文系一括入試の『「地理歴史」「公民」』に関しては、大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

（大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』及び「理科②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

- (3) 大学入学共通テストの「理科」のうち、「基礎を付した科目」（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）から2科目を選択するように指定している学類の中で、人文学類、法学類、経済学類、国際学類においては、「基礎を付していない科目」（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものとみなし、合計得点（200点満点）を100点満点に換算して利用します。

- (4) 大学入学共通テストで「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

- (5) 個別学力検査で「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

- (6) 大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（100点満点）を200点満点に換算して利用します。

5. 大学入学共通テストの「英語」での英語外部試験の利用については次のとおりです。

(1) 大学入学共通テストの「英語」について、次の表に○で示す学域・学類等においては、英語外部試験で一定以上のスコア*の場合、スコアの提出を認めます。

対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、IELTS、TEAP（4技能又はCBT）、TOEFL iBT（Special Home Edition含む）です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

*本学が求める一定以上のスコア：

ケンブリッジ英語検定：140、実用英語技能検定：1950、GTEC（CBT）：910、IELTS：3.0、TEAP（4技能）：225、TEAP（CBT）：420、TOEFL iBT：42

○上記の英語外部試験のスコアの提出を認める試験区分

学域・学類等		前期日程
融合学域 (仮称)	先導科学類（仮称）	○
人間社会学域	人文学類	○
	法学類	—
	経済学類	○
	学校教育学類	○
	地域創造学類	○
	国際学類	○
理工学域	数物科学類	—
	物質化学類	—
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	—
	地球社会基盤学類	—
	生命理工学類	—
医薬保健学域	医学類	—
	薬学類	—
	医薬科学類（仮称）	—
	保健学類	○
「文系一括、理系一括」入試		○

(注) — は英語外部試験を利用しない学類です。

(2) 英語外部試験のスコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項（全選抜共通）」を確認してください。

6. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、高等学校等から提出された「調査書」を次のとおり活用します。

(1) 「調査書」の記載事項について点数化して活用します。

(2) 調査書の点数化においては、記載事項の肯定的意見の有無を判定します。

(3) 主体性等評価の配点は、全学統一して、大学入学共通テストと個別学力検査の合計配点の概ね2%とします。

(4) 学力検査の合計点により合否のボーダー層を抽出し、このボーダー層の志願者により主体性等評価の得点を加算して合否を判定します。

(5) 調査書を提出できない志願者の主体性等評価には、自己申告による「学習及び活動履歴報告書」を使用し、同じ評価項目で点数化します。この場合、留学等、資格・表彰等については証明書等の写しの提出を求めます。

7. 大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課す**すべての教科・科目等を受験**しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。

また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す**すべての教科・科目等を受験**しなければ**失格**とします。

8. 2段階選抜を実施する**医薬保健学域医学類**については、**志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍程度）を超えた場合に**、大学入学共通テストの教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

9. 各学域・学類等の内容が表示してある表の下の「注意事項」も、必ず確認してください。

学域・学類等 及び入学定員等 （＊一括入試からの移行人数）		学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等							
			教科	科目名等		教科等	科目名等		2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験		配点 合計						
融合学域 （仮称） 55人 前期 40 一括＊ 6 KUGS 4 在外 5	先導科 学類 （仮称）	前期	文系傾 斜 20	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英 ^{（注2）} 、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	国 数 その他 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・ 数A・数B 総合問題 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共通 テ ス ト		100	※100 （50×2）		100	100	100			500	超然 社会人 帰国生徒 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充						
									個別学力 検 査 等		200			※200	400	※200		800								
									計	数字 選択 （個別）	300	100		300	100	500		1300								
										総合 問題 選択 （個別）	300	100		100	100	500	200	1300								
									理系傾 斜 20	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から2 英 ^{（注3）} 、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・ 数A・数B 物基・物理、化基・化学、 生基・生物から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共通 テ ス ト		100	※50 （50×1）			100	100	100			450
															個別学力 検 査 等						400	250	200	850		
計	100	50		500	350	300		1300																		

【先導科学類（仮称） 文系傾斜】注意事項

「理科」で3科目受験している場合（つまり、「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）は、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い方の1科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目）の成績を用います。

（注1）大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

（注2）大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【先導科学類（仮称） 理系傾斜】注意事項

（注3）大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等 及び入学定員等 (*一括入試からの 移行人数)	学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
人間社会 学域 688人 前期 538 一括* 65 KUGS 85	人文学類 141人 前期 123 一括* 13 KUGS 5	前期 国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 (注1) 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 英(注2)、独、仏、中、韓から1 (5教科8科目)又は(6教科8科目)	国 外 その他	国総 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 総合問題	—	共 通 テ ス ト	100	※ 150 (75×2)		100	50	100			500	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
							個別学力 検 査 等	300					300	150		750	追加合格 欠員補充
							計	400	150		100	50	400	150		1250	
	法学類 160人 前期 135 一括* 15 KUGS 10	前期 国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 (注3) 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 英、独、仏、中、韓から1 (5教科8科目)又は(6教科8科目)	国 数 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	50	※ 150 (75×2)		50	50	100			400	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
							個別学力 検 査 等	150			150		300			600	追加合格 欠員補充
							計	200	150		200	50	400			1000	
	経済学類 131人 前期 106 一括* 15 KUGS 10	前期 国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 (注4) 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 英(注5)、独、仏、中、韓から1 (5教科8科目)又は(6教科8科目)	国 数 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	100	※ 200 (100×2)		100	100	100			600	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
							個別学力 検 査 等	300			300		300			900	追加合格 欠員補充
							計	400	200		400	100	400			1500	

【人文学類】注意事項

(注1) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【法学類】注意事項

(注3) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

【経済学類】注意事項

(注4) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

(注5) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等 及び入学定員等 (＊一括入試か らの移行人数)		学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等			
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験		配点 合計		
人間社会 学域	学校教育 学類 85人 前期 58 一括＊2 KUGS 25	前期	パターン A	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理Bから1又は2 } から2 現社、倫、政経、倫・政経から1 } (注1) 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2 又は 物理、化学、生物、地学から1 英(注2)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	国 数 理 その他 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 物基・物理、化基・化学、 生基・生物、地基・地学 から1 総合問題 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共通 テス ト		100	※100 (50×2)		100	50	50			400	超然 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
				個別学力 検 査 等		200				※200	※200	200	※200			600				
				計	数学 選択 (個別)	300	100		300	50	250				1000					
					理科 選択 (個別)	300	100		100	250	250				1000					
					総合 問題 選択 (個別)	300	100		100	50	250	200			1000					
		パターン B	外	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物基、化基、生基、地基から2と 物理、化学、生物、地学から1 又は 物理、化学、生物、地学から2 英(注2)、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	数 国 理 その他 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 国総 物基・物理、化基・化学、 生基・生物、地基・地学 から1 総合問題 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	共通 テス ト		100	※50 (50×1)		100	100	50			400		
				個別学力 検 査 等		※200			200	※200	200	※200			600					
				計	国語 選択 (個別)	300	50		300	100	250				1000					
					理科 選択 (個別)	100	50		300	300	250				1000					
					総合 問題 選択 (個別)	100	50		300	100	250	200			1000					

【学校教育学類】注意事項

- (1) パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目＋「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。

【パターンA】

- ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目
- ② 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に1科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目）

【パターンB】

- ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
- ② 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目

- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。

【パターンA】

- ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目
- ② 「理科」の第1解答科目

【パターンB】

- ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
- ② 「理科」の第1解答科目及び第2解答科目

- (注1) 大学入学共通テストにおいて、パターンAの『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

- (注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等 及び入学定員等 (※一括入試から の移行人数)		学力 検査 等の 区分		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法等	
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計		
人間社会 学域	地域創造 学類 88人 前期 63 一括* 10 KUGS 15	前期	パターン A	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕,〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	国 数 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共通 テ ス ト	パターンA	50	※180 (90×2)	50	90	30			400	帰国生徒 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充	
										パターンB	50	※90 (90×1)	50	180	30			400		
									個 別 学 力 検 査 等 (国語傾斜)		300			100		200				600
									個 別 学 力 検 査 等 (数学傾斜)		100			300		200				600
									パターン B	パターンA 国語傾斜 (個別)	350	180	150	90	230			1000		
			パターンA 数学傾斜 (個別)	150	180	350	90	230				1000								
			パターンB 国語傾斜 (個別)	350	90	150	180	230				1000								
			パターンB 数学傾斜 (個別)	150	90	350	180	230				1000								
			前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2と 物理, 化学, 生物, 地学から1 又は 物理, 化学, 生物, 地学から2 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	国 数 外	国総 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・ 数B 総合問題 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—		共 通 テ ス ト	200	※300 (150×2)	200	100	200			1000		超然 帰国生徒 バカロレア 外国人 追加合格 欠員補充
									個 別 学 力 検 査 等		500			※500	500	※500		1500		
計	数学 選択 (個別)	700							300	700	100	700			2500					
	総合 問題 選択 (個別)	700							300	200	100	700	500		2500					

【地域創造学類】注意事項

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンAの、『「地理歴史」「公民」』の2科目について、同一名称を含む科目（例えば「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」）を組み合わせることはできません。
- (3) パターンBの, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。
- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合（つまり, 『「地理歴史」「公民」』2科目＋「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）, 以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち, 得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」を利用した場合は3科目）
- (5) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合（つまり, 『「地理歴史」「公民」』2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）, 以下のように成績を用います。
 - ① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - ② 「理科」の第1解答科目
 - ③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (6) 個別学力検査について, 出願時に「国語傾斜」か「数学傾斜」を選択する必要があります。
- (注1) 大学入学共通テストの「英語」については, 英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は, 29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても, 大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【国際学類】注意事項

- (注2) 大学入学共通テストにおいて, 『「地理歴史」「公民」』は, 次のいずれかの組合せとします。
 - 『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』
- (注3) 大学入学共通テストの「英語」については, 英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は, 29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても, 大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等 及び入学定員等 (*一括入試からの 移行人数)		学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
理工学域 599人 前期 508 一括* 68 KUGS 23	数物科学類 82人 前期 71 一括* 8 KUGS 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理, 化基・化学から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
								個別学力 検 査 等				600	480	270			1350	追加合格 欠員補充
								計	200	100		800	680	470			2250	
	物質化学類 79人 前期 69 一括* 7 KUGS 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 化基・化学 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
								個別学力 検 査 等				450	450	450			1350	追加合格 欠員補充
								計	200	100		650	650	650			2250	
	機械工学類 97人 3学類一括* 10 KUGS 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
	フロンティア 工学類 107人 3学類一括* 87 KUGS 23							個別学力 検 査 等				550	400	400			1350	追加合格 欠員補充
	電子情報 通信学類 78人 3学類一括* 7 KUGS 3							計	200	100		750	600	600			2250	
	地球社会 基盤学類 98人 前期 80 一括* 10 KUGS 8	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理, 化基・化学, 生 基・生物, 地基・地学から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
								個別学力 検 査 等				450	450	450			1350	追加合格 欠員補充
								計	200	100		650	650	650			2250	
	生命理工 学類 58人 前期 49 一括* 6 KUGS 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 }から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理, 化基・化学, 生 基・生物から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人
								個別学力 検 査 等				450	450	450			1350	追加合格 欠員補充
								計	200	100		650	650	650			2250	

【機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類】注意事項

機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の前期日程の選抜は，3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。出願時に移行を希望する学類がある場合は1つだけ申請することができます（優先配属の申請）。優先配属は入試成績により決定します。

ただし，優先配属が決定した場合でも，2年進級時に優先配属を辞退して，他の2学類を再希望することができます。

また，優先配属を希望しない又は優先配属が決定しなかった場合，入学後の希望と学業成績により移行する学類を決定します。

学域・学類等 及び入学定員等 (*一括入試からの 移行人数)		学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の 選抜方法等		
			教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計		
医薬保健 学域 384人 前期 307 一括* 7 KUGS 60	医学類 112人 前期 84 一括* 1 KUGS 27	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理と化基・化学 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 口述試験(勉学意欲と資質等 を判断するための多面的試問 を行います。)	3 倍 程 度	共 通 テ ス ト	100	※50 (50×1)		100	100	100			450	帰国生徒 外国人	
			個別学力 検 査 等						300	300	300		150	1050	追加合格 欠員補充				
			計	100				50		400	400	400		150	1500				
	薬学類 65人 前期 53 一括* 2 高大院 10	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理と化基・化学 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	100	※100 (100×1)		200	200	200			800	帰国生徒 バカロレア 外国人	
			個別学力 検 査 等						300	600	300			1200	追加合格 欠員補充				
			計	100				100		500	800	500		2000					
	医薬科学類 (仮称) 18人 前期 18	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理と化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理と化基・化学 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	100	※100 (100×1)		200	200	200			800	超然 帰国生徒 バカロレア 外国人	
			個別学力 検 査 等						300	600	300			1200	追加合格 欠員補充				
			計	100				100		500	800	500		2000					
	保健 学類 189人 前期 152 一括* 4 KUGS 33	看護学 専攻 79人 前期 64 一括* 1 KUGS 14	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	帰国生徒 バカロレア 外国人
				個別学力 検 査 等						400	500	500			1400	追加合格 欠員補充			
				計	200				100		600	700	700		2300				
放射線 技術科学 専攻 40人 前期 36 一括* 1 KUGS 3		前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理, 化基・化学から1 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	100	※100 (100×1)		200	400	300			1100	帰国生徒 バカロレア 外国人	
			個別学力 検 査 等						800	800	800			2400	追加合格 欠員補充				
			計	100				100		1000	1200	1100		3500					
検査技術 科学専攻 40人 前期 32 一括* 2 KUGS 6	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・ 数B 物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から2 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	帰国生徒 バカロレア 外国人		
		個別学力 検 査 等						400	800	400			1600	追加合格 欠員補充					
		計	200				100		600	1000	600		2500						
理学療法 学専攻 15人 前期併願 10 KUGS 5	前期	国 地歴 公民 数	国語 世B, 日B, 地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英(注1), 独, 仏, 中, 韓から1	理 外	物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から2 コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ	—	共 通 テ ス ト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	帰国生徒 バカロレア 外国人		
		個別学力 検 査 等							1000	500			1500	追加合格 欠員補充					
		計	200				100		200	1200	700		2400	追加合格 欠員補充					

【保健学類】注意事項

- (注1) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコア提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
- (注2) 保健学類の理学療法学専攻、作業療法学専攻の一般選抜(前期日程)は、2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また、専攻別に合格者を発表します。

一括入試

学域・学類等 及び入学定員等 (*一括入試からの 移行人数)	学力 検査 等の 区分	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										その他の 選抜方法等
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の 区 分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
文系一括 68人	前期 外	国 地歴 公民 数理 外	国語 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英 ^(注2)	外 その他	コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・ 英表Ⅱ 総合問題	—	共 通 テ ス ト	※200(100×2)					200			400	追加合格 欠員補充
			個別学力 検 査 等									200	400		600		
			計				200					400	400		1000		
理系一括 78人	前期	数 外	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B 英 ^(注3)	理	物基・物理, 化基・化学から1	—	共 通 テ ス ト				200		200			400	追加合格 欠員補充
			個別学力 検 査 等								600			600			
			計							200	600	200		1000			

【文系一括】注意事項

大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

(注1) 大学入学共通テストにおいて、{「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」} から3科目となるのは、「数学」2科目と他教科1科目の場合又は「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科1科目の場合のみです。また、{「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」} から4科目となるのは、「数学」2科目と「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【理系一括】注意事項

(注3) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、29ページ「3 入学者選抜の実施教科・科目等」の留意事項5を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

4 試験時間割

令和3年2月25日（木）

学域・学类等			試験時間割		
(融合学域) (仮称)	(先導科学類) (仮称)	文系傾斜	外国語 9：30～11：00	数学（選択） 12：30～14：00	
		理系傾斜		数学 12：30～14：30	理科 15：20～17：00
人間社会学域	人文学類				
	法学類				
	経済学類			数学 12：30～14：00	
	学校教育 学類	パターン A		数学（選択） 12：30～14：00	理科（選択） 15：20～16：20
		パターン B		数学 12：30～14：00	
	地域創造学類				
	国際学類			数学（選択） 12：30～14：00	
理工学域	数物科学類			数学 12：30～14：30	理科 15：20～17：00
	物質化学類				
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類				
	地球社会基盤学類				
	生命理工学類				
	医薬保健学域	医学類			
薬学類					
医薬科学類（仮称）					
保健学類		看護学専攻	数学 12：30～14：00	理科 15：20～16：20	
		放射線技術科学専攻			
		検査技術科学専攻	数学 12：30～14：30	理科 15：20～17：20	
		理学療法学専攻 作業療法学専攻			
一括	文系一括				
	理系一括			理科 15：20～17：20	

令和3年2月26日（金）

学域・学類等			試験時間割	
融合学域 (仮称)	先導科学類 (仮称)	文系傾斜	総合問題（選択） 9：30～11：30	
人間社会学域	人文学類		総合問題 9：30～11：30	国語 13：00～14：30
	法学類			
	経済学類			
	学校 教育 学類	パターン A	総合問題（選択） 9：30～11：30	国語（選択） 13：00～14：30
		パターン B		
	地域創造学類			国語 13：00～14：30
国際学類		総合問題（選択） 9：30～11：30		
医薬保健学域	医学類		口述試験 9：00～	
一括	文系一括		総合問題 9：30～11：30	

6 KUGS 特別入試

KUGS特別入試は、「基礎的知識・技能を修得し、それらを活用して自ら課題を発見し、探究する能力を備えている人」、「将来に明確な目標を持っており、主体的に行動し、他者と協働しながら、自身の夢を実現しようとする強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

本学は、自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的リーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける“金沢大学ブランド”人材の育成を教育目標としており、これを実現するために5つの能力からなる金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）^{*1}を定めています。「KUGS特別入試」では、本学が提供する「KUGS高大接続プログラム^{*2}」を受講した高校生などが、当該プログラムで課される課題レポートと、高等学校等^{*3}での探究的な学びや課題意識を持って取り組んだ各種活動に関する課題レポートを提出し、KUGSに基づく評価基準で評価を受け、基準を満たした場合に出願資格を与えます（「高大接続プログラム受講からKUGS特別入試までの流れ」はP72を確認してください）。

「KUGS高大接続プログラム」において本学は、上に記した課題レポートの提出機会を提供し、その評価結果を受講者に通知するやり取りを通じて、入学までの間に本学での学びに不可欠な能力・資質及び意欲の成長を促します。

入試では入学を希望する学類の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、口述試験や小論文などにより「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

「KUGS特別入試」には、(1) 総合型選抜Ⅰ^{*4}、(2) 総合型選抜Ⅱ^{*4}、(3) 学校推薦型選抜Ⅰ、(4) 学校推薦型選抜Ⅱ、(5) 英語総合選抜Ⅱの5つの選抜があります（Ⅰは大学入学共通テストを課さない、Ⅱは大学入学共通テストを課す）。

*1 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）

本学が人材育成の目標とする理念。

1. 自己の立ち位置を知る 2. 自己を知り、自己を鍛える 3. 考え・価値観を表現する 4. 世界とつながる 5. 未来の課題に取り組む

*2 KUGS高大接続プログラム

本学が開講する高大接続のための個別プログラムの総称で、高校生などを対象に年間を通して開催

*3 高等学校若しくは中等教育学校を指す。

*4 「総合型選抜」では学校長推薦を課さない。

【実施学類等】

学域・学類等		選抜区分 ^(注1)	総合型選抜Ⅰ	総合型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜Ⅱ	英語総合選抜Ⅱ
融合学域(仮称)	先導科学類(仮称)		—	○	—	—	○
人間社会学域	人文学類			○	—	—	—
	法学類			○	—	—	
	経済学類	—	—	○	—	—	
	学校教育学類			○ ^(注2)	—	○ ^(注3)	
	地域創造学類			○	—	—	
	国際学類	○	—	—	—	—	
理工学域	数物科学類			○	—	—	—
	物質化学類			○	—	—	
	機械工学類			○	—	—	
	フロンティア工学類	—	—	—	—	—	
	電子情報通信学類			○	—	—	
	地球社会基盤学類			○	—	○ ^(注4)	
	生命理工学類			○ ^(注5)	—	—	
医薬保健学域	医学類				—	○ ^(注6)	—
	薬学類				—	—	
	医薬科学類(仮称)				—	—	
	保健学類	看護学専攻	—	—	—	○	
		放射線技術科学専攻	—	—	—	○	
		検査技術科学専攻	—	—	—	○	
		理学療法学専攻	—	—	—	○	
		作業療法学専攻	—	—	—	○	

(注1) Ⅰは大学入学共通テストを課さない入試、Ⅱは大学入学共通テストを課す入試を指す。

(注2) 石川県教員希望枠、美術教育専修、保健体育専修、家政教育専修、特別支援教育専修で実施する。

(注3) 国語・社会科・英語教育専修、数学・理科教育専修、音楽教育専修で実施する。

(注4) 地球惑星科学コースで実施する。

(注5) 海洋生物資源コースで実施する。

(注6) 一般枠、特別枠で実施する。

1 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

(1) 出願資格、入学者選抜方法等

実施学域・学 類	人間社会学域 国際学類
募 集 人 員	20人
出 願 資 格	既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者
出 願 要 件	調査書の国語、地歴、公民、英語、数学の各学習成績の状況のうち1教科以上が4.3以上であること、又は、調査書の国語、地歴、公民、英語の各学習成績の状況が4.0以上であること、又は、全体の学習成績の状況が4.0以上であること
選抜方法等	1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考： 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、英語外部試験スコア等）、高大接続プログラム提出課題等で、「主体性・協働性」、「基礎的知識・技能」を評価します。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、募集人員の1.5～2倍程度になるよう選考します。 100点 英語外部試験^(注)：ケンブリッジ英語検定（リンガスキル含む）、実用英語技能検定、GTEC（CBT）、IELTS、TEAP（4技能又はCBT）、TOEFL iBT（Special Home Edition 含む）のいずれか 3. 最終選考： 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書、英語外部試験スコア等）、高大接続プログラム提出課題等を参考に口述試験を行い、「主体性・協働性」、「基礎的知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」などを評価します。 100点 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。

【注意事項】

(注) 実用英語技能検定（英検）については、級や合否にかかわらず、CSEスコアにて判定します。ただし、英検Jr.及び英検IBAは除きます。英語外部試験のスコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項（全選抜共通）」を確認してください。

(2) 出願期間

令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは、令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

最終選考：令和2年12月5日（土）

(4) 合格者発表

第1次選考：令和2年11月27日（金） 最終選考：令和2年12月21日（月）

(5) その他

- ① 総合型選抜Ⅰに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で国際学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続きにより一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。

2 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）出願資格，入学者選抜方法等

【留意事項】

1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
2. 大学入学共通テストの「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
3. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等については，次のとおりです。
 - （1）配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。
 - （2）大学入学共通テストで，指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし，『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合は，それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。

なお，第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。
 - （3）大学入学共通テストで「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については，2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - （4）大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については，「英語」の筆記試験の成績（100点満点）を200点満点に換算して利用します。
4. 各学域・学類等の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてありますので，必ず確認してください。

総合型選抜Ⅱ																						
実施学域・学類等				融合学域 先導科学類(仮称)																		
募集人員				2人																		
出願資格				既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																		
出願要件				令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																		
選抜方法				1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を行い, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。 2. 「小論文」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 3. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. 3.の評価を総合して選抜を行います。																		
大学入学共通テストの利用教科・科目名						個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
教科		科目名等				教科等	科目名等	試験区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
パターンA	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理Bから1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 } から2 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]				その他	小論文 口述試験	共通 テスト	パターンA	100	※100(50×2)		100	100	100							500
									パターンB	100	※50(50×1)		100	150	100						500	
								個別学力検査等								300		300		参考	参考	600
パターンB	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2と 物理, 化学, 生物, 地学から1 又は 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] 又は [5教科8科目]						計	パターンA	100	100		100	100	100	300		300			1100	
									パターンB	100	50		100	150	100	300		300			1100	

【注意事項】

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合(つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を用います。
① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目,「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目)
- (4) 『「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合(つまり、『「地理歴史」「公民」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を用います。
① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
② 「理科」の第1解答科目
③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注) 大学入学共通テストにおいて、パターンAの『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目]又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目]

総合型選抜Ⅱ																				
実施学域・学類等		人間社会学域 人文学類																		
募集人員		5人																		
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																		
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																		
選抜方法		1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い, 「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させる「小論文」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。その際, 文章や資料を提示することもあります。 3. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。																		
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計	
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 英 [3教科3科目] 又は [3教科4科目]			その他	小論文 口述試験	共通テスト	100	※100(100×1)				100								300
						個別学力検査等							300		300		参考	参考	600	
						計	100	100				100	300		300				900	

【注意事項】

(1) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の成績は利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績を利用します。

(2) 「基礎を付していない科目」(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」) から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものとみなし、合計得点(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

(注) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』, 「数学」, 「理科」 から2科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 法学類																	
募集人員		10人																	
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の 1 から 3 のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成 30 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 30 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成 30 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者																	
出願要件		令和 3 年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類（調査書，志願理由書，活動報告書等）等を参考に「口述試験」を行い，「知識・技能」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 具体的には，日頃から社会問題に対する関心を有しているか，大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか，他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか，自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかななどを総合的に評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2 の評価を総合して選抜を行います。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 外	国語 世 B，日 B，地理 B 現社，倫，政経，倫・政経 } から 1 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B，簿，情報から 1 英，独，仏，中，韓から 1 [4教科5科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※ 100 (100 × 1)		100		100							400
						個別学力検査等									400	参考	参考	400	
						計	100	100		100		100			400			800	

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [石川県教員希望枠]																	
募集人員		3人																	
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、卒業後、石川県内の学校園に教員として勤務する強い意志を持ち、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 ※学校教育学類[石川県教員希望枠]の入学後の各専修への配属は、一般選抜と同様に2年次からとします。																	
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお, 本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね225点(75%)以上(ただし, 平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目] 又は [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	50	※50(50×1)		50	50	100							300
						個別学力検査等								300		参考	参考	300	
						計	50	50		50	50	100			300			600	

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 美術教育専修																	
募集人員		3人																	
出願資格		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当し、かつ4に該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 4. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、将来教職に就くことを強く希望する者																	
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験(提出された作品の内容を含む)」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。「実技試験(デッサン)」を行い「知識・技能」を評価します。 実 技 ― デッサン 提出作品 ― 自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、口述試験時に持参できるものとします。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね240点(60%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国外 地歴 公民 数 理	国語 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数A, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 [2教科2科目] 又は [2教科3科目]			その他	実技試験 口述試験	共通テスト	※200	※200(200×1)				※200							400
						個別学力検査等									200	400	参考	参考	600
						計	200	200				200			200	400			1000

【注意事項】

大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目が指定した科目以外の場合は、『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目の成績は利用せず、指定した教科・科目の範囲で高得点の順に他教科の成績(「理科」の「基礎を付していない科目」については第1解答科目の成績)を利用します。ただし、「理科」については、「基礎を付した科目」2科目の合計得点又は「基礎を付していない科目」の第1解答科目の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
(注) 大学入学共通テストにおいて、『「地理歴史」「公民」』, 「数学」, 「理科」} から2科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

総合型選抜Ⅱ																						
実施学域・学類等				人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 保健体育専修																		
募集人員				5人																		
出願資格				既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当し、かつ4に該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 4. 高等学校若しくは中学校において、スポーツ活動(ダンスを含む)に積極的に取り組み、優れた能力を持つ者で、かつ、入学後も活動を続ける意思のあるもの																		
出願要件				令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																		
選抜方法				1. 出願書類(調査書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。																		
大学入学共通テストの利用教科・科目名						個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
教科		科目名等				教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計	
パターンA	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理Bから1又は2 } から2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 (注) 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]				その他	口述試験	共通テスト	パターンA	100	※100(50×2)		100	50	100							450
	パターンB	100	※50(50×1)		100				100	100								450				
パターンB	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2と 物理, 化学, 生物, 地学から1 又は 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] 又は [5教科8科目]	個別学力検査等												450		参考	参考	450			
			計	パターンA	100			100		100	50	100				450				900		
				パターンB	100			50		100	100	100				450				900		

【注意事項】

- 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
 - パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。
 - 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合(つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を用います。
 - 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目)
 - 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合(つまり、『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を用います。
 - 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
 - 「理科」の第1解答科目
 - 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注) 大学入学共通テストにおいて、パターンAの『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

総合型選抜Ⅱ																					
実施学域・学類等			人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 家政教育専修																		
募集人員			3人																		
出願資格			既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																		
出願要件			令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																		
選抜方法			1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお, 本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね292点(65%)以上(ただし, 平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																		
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等															
教科		科目名等		教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計		
パターンA	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理Bから1又は2 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] 又は [6教科8科目]		その他	口述試験	共通テスト	パターンA	100	※100(50×2)	100	50	100							450		
	パターンB	100	※50(50×1)				100	100	100							450					
パターンB	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2と 物理, 化学, 生物, 地学から1 又は 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目] 又は [5教科8科目]				個別学力検査等									450		参考	参考	450		
						計	パターンA	100	100	100	50	100			450				900		
		パターンB	100				50	100	100	100			450				900				

【注意事項】

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は, パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について, 同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。
- (3) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で5科目受験している場合(つまり, 『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目), 以下のように成績を用います。
① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
② 『「地理歴史」「公民」』の第2解答科目, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち, 得点の高い順に2科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は3科目)
- (4) 『「地理歴史」「公民」』と「理科」で4科目受験している場合(つまり, 『「地理歴史」「公民」』2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目), 以下のように成績を用います。
① 『「地理歴史」「公民」』の第1解答科目
② 「理科」の第1解答科目
③ 『「地理歴史」「公民」』及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (注) 大学入学共通テストにおいて, パターンAの『「地理歴史」「公民」』は, 次のいずれかの組合せとします。
『「地理歴史」から2科目] 又は 『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目]

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 特別支援教育専修																	
募集人員		4人																	
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																	
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお, 本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね300点(60%)以上(ただし, 平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地基から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目] 又は [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※100(100×1)		100	100	100							500
						個別学力検査等									500		参考	参考	500
						計	100	100		100	100	100			500				1000

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 地域創造学類																	
募集人員		15人																	
出願資格		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																	
出願要件		次の1、2の要件すべてに該当すること 1. 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であること 2. 令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。あわせて口述試験のなかで、地域創造学類における学習に関連する基礎的な「思考力・判断力・表現力」や「知識・技能」を確認する問いを設け、評価します。 2. 大学入学共通テストで、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。「外国語」と、「国語、地歴、公民、数学、理科」に含まれる科目のうち高得点のもの2科目又は3科目の得点を合計し（3科目又は4科目利用）、評価に用います。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、 簿、情報から1 又は 物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1 [3教科3科目]又は[3教科4科目]			その他	口述試験	共通テスト	※200(100×2)					100							300
						個別学力検査等									300		参考	参考	300
						計	200					100			300				600

【注意事項】

(注) 大学入学共通テストにおいて、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

総合型選抜Ⅱ																	
実施学域・学類等		理工学域 数物科学類															
募集人員		3人															
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者															
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること															
選抜方法		1. 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類及び高大接続プログラム課題等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね585点（65％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。															
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から2 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
				個別学力検査等									900		参考	参考	900
				計	200	100		200	200	200			900				1800

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		理工学域 物質化学類																	
募集人員		3人																	
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																	
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類及び高大接続プログラム課題等により募集人員の2倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね585点(65%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理と化学 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
						個別学力検査等									900		参考	参考	900
						計	200	100		200	200	200			900				1800

総合型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		理工学域 機械工学類																	
募集人員		3人																	
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																	
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																	
選抜方法		1. 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類及び高大接続プログラム課題等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね585点（65％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理と化学 英 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
						個別学力検査等									900		参考	参考	900
						計	200	100		200	200	200			900				1800

総合型選抜Ⅱ																	
実施学域・学類等		理工学域 電子情報通信学類															
募集人員		3人															
出願資格		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者															
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること															
選抜方法		1. 出願書類（調査書、志願理由書、活動報告書等）、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類及び高大接続プログラム課題等により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね585点（65％）以上（ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある）を合格の基準とします。															
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理と化学 英、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]	その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
				個別学力検査等									900		参考	参考	900
				計	200	100		200	200	200			900				1800

総合型選抜Ⅱ																		
実施学域・学類等		理工学域 地球社会基盤学類																
募集人員		3人																
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者																
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること																
選抜方法		1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入試共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。																
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等		教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]		その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
					個別学力検査等								900		参考	参考	900	
					計	200	100		200	200	200			900			1800	

総合型選抜Ⅱ																	
実施学域・学類等		理工学域 生命理工学類 海洋生物資源コース															
募集人員		3人															
出願資格		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、海洋生物資源に強い興味を持ち、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者															
出願要件		令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること															
選抜方法		1. 出願書類(調査書、志願理由書、活動報告書、課題論文等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。提出する課題論文については、本学が高校生を対象に実施するセミナーを基にした課題、高等学校若しくは中等教育学校において行った課題研究、又は自由に設定した課題研究での成果等をまとめたものとします。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点(800点満点)が、概ね440点(55%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は、変更することがある)が必要ですが、個別試験に加算しての合否判定には使いません。 ただし、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、1. の出願書類により募集人員の3倍程度になるよう第1次選考を行います。100点満点で評価し、最終選考でもその成績を利用します。															
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
教科	科目名等	教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B 現社、倫、政経、倫・政経 } から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物から1 英、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目]	その他	口述試験	共通テスト	100	※100(100×1)		200	200	200							800 (注)
				個別学力検査等									300		100	参考	400
				計									300		100		400

【注意事項】

(注) 大学入学共通テストは基準点として利用します。

(2) 出願期間

令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは、令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和2年12月5日（土）

(4) 合格者発表

理工学域（数物科学類，物質化学類，機械工学類，電子情報通信学類，生命理工学類）

第1次選考 令和2年11月27日（金）

最終選考 令和3年2月16日（火）

融合学域（仮称），人間社会学域（人文学類，法学類，学校教育学類，地域創造学類），理工学域（地球社会基盤学類）

令和3年2月16日（火）

(5) その他

- ① 総合型選抜Ⅱに合格しなかった者のうち，一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した
者で，所要の手續により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の
個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として，入学後の転学類を認めません。

3 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

(1) 推薦要件，入学者選抜方法等

学校推薦型Ⅰ	
実施学域・学 類	人間社会学域 経済学類
募 集 人 員	10人
推 薦 要 件	既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており，以下の1から4のすべての要件を満たす者 1. 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む)の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得(見込みも含む)して令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者で次のすべての要件を満たすもの (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む)における学習成績概評がA段階以上(学習成績の状況4.3以上)に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合，入学を確約できる者 4. 推薦は，1校につき2名以内とします。
選抜方法等	1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は，「小論文」，「TOEIC(L & R)」，「口述試験」の結果を総合して行います。なお，TOEIC(L & R)は100点満点に換算します。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え，出題された論題について800字程度で論述させます。 3. 配点：小論文 100点 TOEIC(L & R)^(注) 100点 口述試験 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文を読解させ，「思考力・判断力・表現力」を評価します。 TOEIC(L & R)：「知識・技能」を評価します。 口述試験：出願書類(調査書，推薦書，志願理由書，活動報告書等)，高大接続プログラム課題等を参考に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【注意事項】

(注) TOEIC(L & R)のスコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項(全選抜共通)」を確認してください。

(2) 出願期間

令和2年11月2日(月)～9日(月)

(Web出願システムは，令和2年10月26日(月)から事前登録可能)

(3) 選抜期日

令和2年12月5日(土)

(4) 合格者発表

令和2年12月21日(月)

(5) その他

- ① 学校推薦型選抜Ⅰに合格しなかった者のうち，一般選抜(前期日程)で経済学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で，所要の手続きにより一般選抜(前期日程)に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜(前期日程)の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として，入学後の転学類を認めません。

4 学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）推薦要件，入学者選抜方法等

【留意事項】

1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
2. 大学入学共通テストの「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
3. 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等については次のとおりです。
 - （1）配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。
 - （2）大学入学共通テストで，指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし，『「地理歴史」「公民」』の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合及び「理科」の受験科目を1科目と指定した学類等において2科目受験している場合は，それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。

なお，第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。
 - （3）大学入学共通テストで「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については，2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
 - （4）大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については，「英語」の筆記試験の成績（100点満点）を200点満点に換算して利用します。
 - （5）大学入学共通テストの「英語」について，保健学類においては，英語外部試験で一定以上のスコア*の場合，スコアの提出を認めます。対象とする英語外部試験は，ケンブリッジ英語検定（リングスキル含む），実用英語技能検定，GTEC（CBT），IELTS，TEAP（4技能又はCBT），TOEFL iBT（Special Home Edition 含む）です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い，大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても，大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。
- * 本学が求める一定以上のスコア：

ケンブリッジ英語検定：140，実用英語技能検定：1950，GTEC（CBT）910，IELTS：3.0，TEAP（4技能）：225，
TEAP（CBT）：420，TOEFL iBT：42
- （6）英語外部試験のスコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項（全選抜共通）」を確認してください。
4. 各学域・学類等の内容が表示してある表の下にも「注意事項」が書いてありますので，必ず確認してください。

学校推薦型選抜Ⅱ																		
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 国語・社会科・英語教育専修																
募集人員		2人																
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 4 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績がともに優れ、本学類(国語・社会科・英語教育専修)に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1 校につき 2 名以内とします。 ※学校教育学類[専修枠]国語・社会科・英語教育専修の入学後の各専修への配属は 2 年次からとします。																
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 「大学入学共通テスト」で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね 420 点 (70%) 以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																
大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等		教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世 B、日 B、地理 B から 1 又は 2 現社、倫、政経、倫・政経から 1 } から 2 (注) 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1 物基、化基、生基、地基から 2 又は 物理、化学、生物、地学から 1 英、独、仏、中、韓から 1 [5教科7科目]、[5教科8科目]、 [6教科7科目] 又は [6教科8科目]		その他	口述試験	共通テスト	100	※ 100 (50 × 2)		100	100	200							600
					個別学力検査等									600		参考	参考	600
					計	100	100		100	100	200			600				1200

【注意事項】

(注) 大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
 『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 数学・理科教育専修																	
募集人員		1人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 4 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績がともに優れ、本学類(数学・理科教育専修)に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1 校につき 2 名以内とします。 ※学校教育学類[専修枠] 数学・理科教育専修の入学後の各専修への配属は 2 年次からとします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね 240 点 (60%) 以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世 B, 日 B, 地理 B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B, 簿, 情報から 1 物基, 化基, 生基, 地基から 2 と 物理, 化学, 生物, 地学から 1 又は 物理, 化学, 生物, 地学から 2			その他	口述試験	共通テスト	50	※ 50 (50 × 1)		100	100	100							400
						個別学力検査等									400		参考	参考	400
	計	50	50			100	100	100			400				800				
[5教科7科目] 又は [5教科8科目]																			

【注意事項】

大学入試共通テストの「理科」のうち、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせることはできません。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		人間社会学域 学校教育学類 [専修枠] 音楽教育専修																	
募集人員		4人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 5 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績がともに優れ、本学類(音楽教育専修)に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 3. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評が B 段階以上(評定平均 3.5 以上)に該当する者 4. 合格した場合、入学することを確約できる者 5. 推薦は、1 校につき 2 名以内とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 「実技試験(新曲視唱を含む)」及び「筆記試験(楽典)」を行い「知識・技能」を評価します。 3. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね 120 点 (60%) 以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 外	国語 英			その他	口述試験 実技試験 筆記試験	共通テスト	100					100							200
						個別学力検査等								50	100	350	参考	参考	500
						計	100					100		50	100	350			700

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		理工学域 地球社会基盤学類 地球惑星科学コース																	
募集人員		5人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 4 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績がともに優れ、地球惑星科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持つ者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1 校につき 5 名以内とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。なお、大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点(600 点満点)が概ね 360 点(60%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は、変更することがある)を合格の基準とし、これを個別学力検査の得点と合算して合否判定に用いることはありません。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世 B、日 B、地理 B 現社、倫、政経、倫・政経 } から 1 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1 物理、化学、生物、地学から 2 英、独、仏、中、韓から 1 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	50	※ 50 (50 × 1)		150	200	150							600 (注)
						個別学力検査等								100		参考	参考	100	
						計									100				100

【注意事項】

(注) 大学入学共通テストは基準点として利用します。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 医学類 〔一般枠〕																	
募集人員		15人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 3 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (2) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の学習成績の状況が㊤段階に該当する者で、かつ出身学校長が人物・能力について責任を持って推薦できるもの(注1) 3. 合格した場合、入学することを確約できる者																	
選抜方法		1. 選抜は、第 1 次選考及び最終選考により行います。 2. 第 1 次選考 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストの得点により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、推薦要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね 680 点(85%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等の内容を参考に募集人員の 2 倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第 1 次選考の合格者に対し、出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世 B、日 B、地理 B } から 1 倫・政経 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1 物理と化学 英 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※ 100 (100×1)		200	200	200							800 (注2)
						個別学力検査等								200		参考	参考	200	
						計									200			200	

【注意事項】

(注1) 推薦要件の「㊤」とは、高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階(全体の評定平均値5.0～4.3)に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者です。

この場合、調査書に㊤と標示し、「備考」の欄にその理由を明示してください。

(注2) 大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

学校推薦型選抜Ⅱ																				
実施学域・学類等		医薬保健学域 医学類 [特別枠]																		
募集人員		12人（石川県枠10人 富山県枠2人）																		
推薦要件		既にKUGS 高大接続プログラムでKUGS 特別入試への出願が認められており、以下の1から3のすべての要件を満たす者 1. 次の(1)から(2)のいずれかに該当する者で、令和3年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の学習成績の状況が㊤段階に該当する者で、かつ出身学校長が人物・能力について責任を持って推薦できるもの(注1) 3. 合格した場合、入学することを確約できる者																		
選抜方法		1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 2. 第1次選考 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストの得点により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、推薦要件を満たしているか確認します。 大学入学共通テストで以下に記す教科・科目を受験し、本学類が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね680点(85%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。 なお、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、大学入学共通テストの得点をもとに、出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるように選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等、大学入学共通テストを参考に「口述試験」を行い、「生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。																		
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計	
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理と化学 英 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※100(100×1)		200	200	200								800 (注2)
						個別学力検査等									200		参考	参考	200	
						計									200				200	

【注意事項】

(注1) 推薦要件の「㊤」とは、高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階（全体の評定平均値5.0～4.3）に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀な者です。

この場合、調査書に㊤と標示し、「備考」の欄にその理由を明示してください。

(注2) 大学入学共通テストは第1次選考として利用する他、口述試験の参考として利用します。

■石川県枠について

- 将来、石川県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
- 出身高校の所在地に関わらず、石川県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、石川県知事からの推薦があり、入学後は、石川県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、石川県知事が貸与生ごとに指定する石川県内の医療機関において、7年間診療に従事します。

■富山県枠について

- 将来、富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としています。
- 出身高校の所在地に関わらず、富山県の地域医療に貢献する強い意志を持ち、富山県知事からの推薦があり、入学後は、富山県の修学資金の貸与を受ける者を対象とします。また、卒業後は、指定された臨床研修病院で臨床研修を行った後、富山県知事が貸与生ごとに指定する富山県内の医療機関において、地域医療に必要な診療科（小児科、外科※、産科、麻酔科、救急科、総合診療科）で9年間診療に従事します。

※外科は、新専門医制度の基本領域における「外科」のみを指し、整形外科、脳神経外科及び形成外科は含みません。

特別枠（石川県枠、富山県枠）で不合格であっても、あらかじめ、一般枠を第2志望とした者については、一般枠の選考対象とします。

なお、石川県枠と富山県枠の併願は認めません。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 保健学類 看護学専攻																	
募集人員		14人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の1から4のすべての要件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、令和3年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1)高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2)通常の課程による12年の学校教育を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 (3)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね520点(65%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から1 英 ^(注) 、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目]			その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	100	200							800
						個別学力検査等									800		参考	参考	800
						計	200	100		200	100	200			800				1600

【注意事項】

(注) 大学入試共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、58ページの【留意事項】3.(5)を確認してください。
英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻																	
募集人員		3人																	
推薦要件		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、以下の1から4のすべての要件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、令和3年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね390点(65%)以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から2 英 ^(注) 、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	50	※50(50×1)		150	200	150							600
						個別学力検査等								600		参考	参考	600	
						計	50	50		150	200	150			600				1200

【注意事項】

(注) 大学入試共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、58ページの【留意事項】3.(5)を確認してください。
英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻																	
募集人員		6人																	
推薦要件		既に KUGS 高大接続プログラムで KUGS 特別入試への出願が認められており、以下の 1 から 4 のすべての要件を満たす者 1. 次の (1) から (3) のいずれかに該当する者で、令和 3 年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 2 年 4 月から令和 3 年 3 月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1 校につき 2 名以内とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。 なお、本専攻が課す大学入学共通テストの成績の合計得点が概ね 490 点 (65%) 以上(ただし、平均点が大きく変動した場合は変更することがある)を合格の基準とします。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世 B、日 B、地理 B } から 1 倫・政経 数Ⅰ・数 A と 数Ⅱ・数 B、簿、情報から 1 物理、化学、生物、地学から 2 英 ^(注) 、独、仏、中、韓から 1 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※ 50 (50 × 1)		200	200	200							750
						個別学力検査等								750		参考	参考	750	
						計	100	50		200	200	200			750				1500

【注意事項】

(注) 大学入試共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、58ページの【留意事項】3.(5)を確認してください。
英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻																	
募集人員		5人																	
推薦要件		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、以下の1から4のすべての要件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、令和3年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」,「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から2 英 ^(注) 、独、仏、中、韓から1 [5教科7科目]			その他	口述試験	共通テスト	200	※100(100×1)		200	200	200							900
						個別学力検査等									900		参考	参考	900
						計	200	100		200	200	200			900				1800

【注意事項】

(注) 大学入試共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、58ページの【留意事項】3.(5)を確認してください。
英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学校推薦型選抜Ⅱ																			
実施学域・学類等		医薬保健学域 保健学類 作業療法学専攻																	
募集人員		5人																	
推薦要件		既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、以下の1から4のすべての要件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、令和3年度大学入学共通テストで課す教科・科目を受験するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できること 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。																	
選抜方法		1. 出願書類(調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書等)、高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「思考力・判断力・表現力」及び医療人としての適性を評価します。 2. 大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。 1. 2. の評価を総合して選抜を行います。																	
大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等													
教科	科目名等			教科等	科目名等	試験区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	筆記試験	口述試験	実技試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B、日B、地理B } から1 倫・政経 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1 物理、化学、生物、地学から1 英 ^(注) 、独、仏、中、韓から1 [5教科6科目]			その他	口述試験	共通テスト	100	※50(50×1)		100	50	100							400
						個別学力検査等									400		参考	参考	400
						計	100	50		100	50	100			400				800

【注意事項】

(注) 大学入試共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、58ページの【留意事項】3. (5)を確認してください。
英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

(2) 出願期間

人間社会学域（学校教育学類），理工学域（地球社会基盤学類），医薬保健学域（保健学類）：令和2年11月2日（月）～9日（月）
（Web出願システムは，令和2年10月26日（月）から事前登録可能）
医薬保健学域（医学類）：令和2年12月14日（月）～18日（金）
（Web出願システムは，令和2年12月7日（月）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

人間社会学域（学校教育学類），理工学域（地球社会基盤学類），医薬保健学域（保健学類）：令和2年12月5日（土）
医薬保健学域（医学類）：最終選考 令和3年2月12日（金）

(4) 合格者発表

人間社会学域（学校教育学類），理工学域（地球社会基盤学類），医薬保健学域（保健学類）：令和3年2月16日（火）
医薬保健学域（医学類）：第1次選考 令和3年2月10日（水），最終選考 令和3年2月16日（火）

(5) その他

- ① 学校推薦型選抜Ⅱに合格しなかった者のうち，一般選抜（前期日程）で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で，所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として，入学後の転学類・転専攻等を認めません。

5 英語総合選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

（1）出願資格，入学者選抜方法等

【留意事項】

- 大学入学共通テスト及び個別学力検査等で，志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
- 大学入学共通テストの「数学」のうち「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等について
 - 配点に※印を付してある教科は，選択教科を表します。
 - 大学入学共通テストで，指定した教科・科目数を超えて受験している場合は，指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。
 - 大学入学共通テストの「数学」2科目及び「理科」2科目については，2科目の合計を表記しています。
各科目の配点は各々2分の1とします。
 - 大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については，「英語」の筆記試験の成績（100点満点）を200点満点に換算して利用します。

実施学域・学類	融合学域 先導科学類(仮称)										
募集人員	2人										
出願資格	既にKUGS高大接続プログラムでKUGS特別入試への出願が認められており、本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から3のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成30年4月から令和3年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から令和3年3月までに修了又は修了見込みの者										
出願要件	令和3年度大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること 【大学入学共通テストで課す教科・科目名】 国 (国語) 地歴 (世B, 日B, 地理B)から1又は2 公民 (現社, 倫, 政経, 倫・政経から1) 数 (数Ⅰ・数A)と(数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1) 理 (物理, 化学, 生物, 地学から2) 外 (英語) }から2 ^(注) }から2 〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 (注)大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。 『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』										
選抜方法等	1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等), 高大接続プログラム課題等を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)(英語)」を行い, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。 300点 2. 「総合問題(英語)」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 300点 3. 大学入学共通テストで「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。 300点 1. 2. 3. の評価を総合して選抜を行います。 ※配点 口述試験(プレゼンテーションを含む) 300点 筆記試験「総合問題(英語)」 300点 大学入学共通テスト 300点										
大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	口述試験	出願書類	高大接続プログラム課題等	配点合計
共通テスト	100	※100(50×2)		※100	※100	100					300
個別学力検査等							300	300	参考	参考	600
計	100	100				100	300	300			900

(2) 出願期間

令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは、令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

(3) 選抜期日

令和2年12月5日（土）

(4) 合格者発表

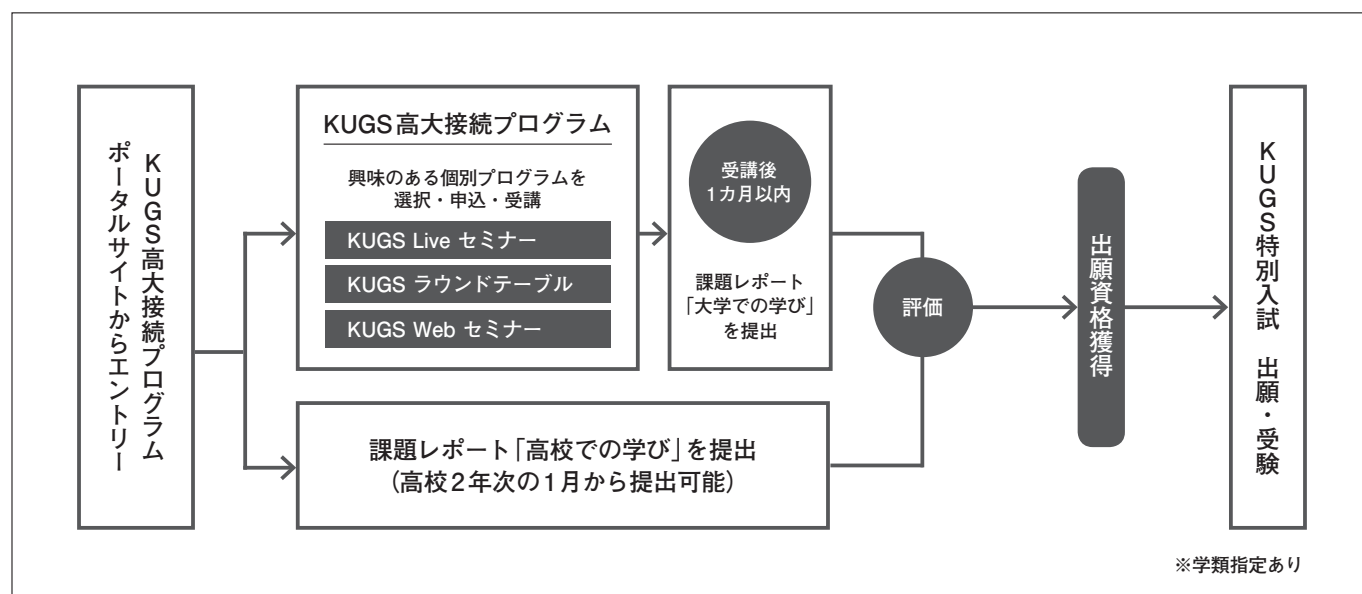
令和3年2月16日（火）

(5) その他

- ① 英語総合選抜Ⅱに合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で先導科学類（仮称）が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として、入学後の転学類を認めません。

6 KUGS 高大接続プログラム受講から KUGS 特別入試までの流れ

KUGS 高大接続プログラム受講から KUGS 特別入試までの流れは次のとおりです。



KUGS 特別入試の出願資格を得るためには、課題レポート「大学での学び」及び課題レポート「高校での学び」を両方とも提出し評価を受ける必要があります。なお、受験する年度の課題レポートは8月31日までに提出が必要です。

KUGS 高大接続プログラム

本学トップページ＞受験生＞高校生・受験生対象プログラム＞KUGS 高大接続プログラム



7 超然特別入試

「超然特別入試」には、(1) ^{エーリンピアード}A-lympiad 選抜、(2) 超然文学選抜の2つの選抜があります。

「超然特別入試」は、「(1) 数学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」又は「(2) 文学的に特異な才能を持ち、その才能を活かして将来専門的分野で社会的な課題の解決に取り組む強い意欲を持っている人」を受け入れて育成するために、志願者の能力・資質・意欲を多面的・総合的に評価する入試です。

「超然特別入試」の選抜(1)、(2)では、高等学校等在学中に本学が主催するコンテスト「日本数学A-lympiad^{*1}」又は「超然文学賞^{*2}」に応募し、各学類が指定する入賞実績を上げた場合に出席資格を与えます。

「超然特別入試」は大学入学共通テストや学校長推薦を課さない総合型選抜です。入学を希望する学類の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、口述試験や小論文などにより志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

*1 日本数学A-lympiad

本学が主催する数学コンテスト。同じ学校に在籍する3～4人がチームになり、現実の世界的課題を背景として作成された実社会に起こりうる問題（英文）を読み解き、数学の力を利用して社会にとってより良い解決案を提案することを競う大会。本コンテストで入賞した上位2チームを、本学はオランダで開催される世界大会（Math A-lympiad）に日本代表として派遣。

*2 超然文学賞

本学が主催する文学コンテスト。小説と短歌の2部門を有し、「言葉の力」で人間の新しい可能性を切り拓くことのできる人材を発見し、その能力を称え、励ますことが目的。

【実施学类等】

学域・学類等		選抜区分	A-lympiad 選抜	超然文学選抜	
融合学域 (仮称)	先導科学類(仮称)		○	○	
人間社会学域	人文学類		○	○	
	法学類		○	—	
	経済学類		○		
	学校教育学類		○	○	
	地域創造学類		—	—	
	国際学類		○	○	
理工学域	数物科学類		○	—	
	物質化学類		○		
	機械工学類		○		
	フロンティア工学類		○		
	電子情報通信学類		○		
	地球社会基盤学類		○		
	生命理工学類		○		
医薬保健学域	医学類		—	—	
	薬学類				
	医薬科学類(仮称)		○		
	保健学類	看護学専攻			—
		放射線技術科学専攻			
		検査技術科学専攻			
		理学療法学専攻			
		作業療法学専攻			

○：実施する —：実施しない

1 A-lympiad 選抜

(1) 募集人員

各学域・学類とも若干名

(2) 出願資格

各志望学域・学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

(3) 出願要件

学域・学類		出願要件
融合学域 (仮称)	先導科学類(仮称)	次の1から2の要件すべてを満たすこと 1. 本学主催「日本数学A-lympiad」において「最優秀賞」、「優秀賞」、「優良賞」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績の状況において、数学、英語が各々4.3以上若しくは数学、理科が各々4.3以上であること
	人文学類	
人間社会学域	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	国際学類	
理工学域	数物科学類	
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医薬科学類(仮称)	次の1から2の要件すべてを満たすこと 1. 本学主催「日本数学A-lympiad」において「最優秀賞」、「優秀賞」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績概評がA段階以上であること

(4) 入学者選抜方法等

学域・学類		入学者選抜方法等
(仮称) 融合学域	先導科学類(仮称)	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点
人間社会学域	人文学類	1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点 2. 広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させる「小論文」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。その際, 文章や資料を提示することもあります。 300点
	法学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。具体的には, 日頃から社会問題に対する関心を有しているか, 大学での法学・政治学の学習に必要な基礎的知識を備えているか, 他者の考えを正確に理解し自分の意見を論理的に述べるコミュニケーション能力があるか, 自主的・主体的に課題に取り組む意欲があるかななどを総合的に評価します。 300点
	経済学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点
	学校教育学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「専門職としての教師を目指し教育を通じて地域社会の再生と発展に貢献しようとする意欲等」を評価します。 300点
	国際学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点
理工学域	数物科学類 物質化学類 機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 地球社会基盤学類 生命理工学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点
医薬保健学域	医薬科学類(仮称)	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「医薬科学教育や医薬科学基礎・応用研究に取り組む意欲等」を評価します。 300点

(5) 出願期間

令和2年11月2日(月)～9日(月)
(Web出願システムは, 令和2年10月26日(月)から事前登録可能)

(6) 選抜期日

令和2年12月5日(土)

(7) 合格者発表

令和2年12月21日(月)

(8) その他

- ① A-lympiad選抜に合格しなかった者のうち, 一般選抜(前期日程)で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で, 所要の手続により一般選抜(前期日程)に出願を行ったものに限り, 一般の入学志願者と同様に一般選抜(前期日程)の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として, 入学後の転学類を認めません。
- ③ 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により, グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Aレベル)資格取得者は, 本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については, 次の表で確認してください。

○出願に必要な GCE A レベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
融合学域 (仮称)	先導科学類(仮称)	A レベル試験を3科目以上合格(E 評価以上)していること。
人間社会学域	人文学類	
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	国際学類	
理工学域	数物科学類	
	物質化学類	
	機械工学類	
	フロンティア工学類	
	電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医薬科学類(仮称)	A レベル試験を3科目以上合格(E 評価以上)していること。 ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。

2 超然文学選抜

(1) 募集人員

各学域・学類とも若干名

(2) 出願資格

各志望学域・学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学を確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
4. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

(3) 出願要件

学域・学類		出願要件
融合学域 (仮称)	先導科学類(仮称)	次の1から2の要件すべてに該当すること 1. 本学主催「超然文学賞」において、小説部門又は短歌部門で「最優秀賞」、「優秀賞」、「佳作」を受賞したことがあること 2. 調査書の学習成績の状況において、数学、英語が各々4.3以上であること
人間社会学域	人文学類	本学主催「超然文学賞」において、小説部門又は短歌部門で「最優秀賞」、「優秀賞」、「佳作」を受賞したことがあること
	学校教育学類	
	国際学類	

(4) 入学者選抜方法等

学域・学類		入学者選抜方法等
(仮称) 融合学域	先導科学類(仮称)	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点
人間社会学域	人文学類	1. 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点 2. 広く人間・社会・歴史・文化・言語に関する課題を示して論述させる「小論文」を課し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」を評価します。その際, 文章や資料を提示することもあります。 300点
	学校教育学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「専門職としての教師を目指し教育を通じて地域社会の再生と発展に貢献しようとする意欲等」を評価します。 300点
	国際学類	出願書類(調査書, 志願理由書, 活動報告書等)を参考に「口述試験(プレゼンテーションを含む)」を課し, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「社会的課題の解決に取り組む意欲等」を評価します。 300点

(5) 出願期間

令和2年11月2日(月)～9日(月)

(Web出願システムは, 令和2年10月26日(月)から事前登録可能)

(6) 選抜期日

令和2年12月5日(土)

(7) 合格者発表

令和2年12月21日(月)

(8) その他

- ① 超然文学選抜に合格しなかった者のうち, 一般選抜(前期日程)で各学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で, 所要の手続により一般選抜(前期日程)に出願を行ったものに限り, 一般の入学志願者と同様に一般選抜(前期日程)の個別学力検査等を受験することができます。
- ② 原則として, 入学後の転学類を認めません。
- ③ 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により, グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Aレベル)資格取得者は, 本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については, 次のとおりです。
※Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。

8 薬学類・高大院接続入試

1 出願資格、選抜方法等

実施学域・学 類	医薬保健学域 薬学類																				
募 集 人 員	10人																				
出 願 資 格	本学類への明確な志向と勉学の熱意を有し、合格した場合には入学することを確約できる者で、次の1から4のいずれかに該当するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第1号から5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの																				
出 願 要 件	次のすべてを満たす者 1. 大学入学共通テストで以下の教科・科目を受験すること 2. 本学大学院(薬学専攻博士課程)までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者を志している者であること 大学入学共通テストで課す教科・科目名 <table><tr><td>国</td><td>(国語)</td><td>100点</td></tr><tr><td>地歴</td><td>(世B, 日B, 地理B)</td><td rowspan="2">}から1</td></tr><tr><td>公民</td><td>(倫・政経)</td></tr><tr><td>数</td><td>(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)</td><td>300点</td></tr><tr><td>理</td><td>(物理と化学)</td><td>200点</td></tr><tr><td>外</td><td>(英, 独, 仏, 中, 韓から1)</td><td>300点</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>1000点</td></tr></table> [5教科7科目]	国	(国語)	100点	地歴	(世B, 日B, 地理B)	}から1	公民	(倫・政経)	数	(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)	300点	理	(物理と化学)	200点	外	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	300点	合計		1000点
国	(国語)	100点																			
地歴	(世B, 日B, 地理B)	}から1																			
公民	(倫・政経)																				
数	(数Ⅰ・数A)と (数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1)	300点																			
理	(物理と化学)	200点																			
外	(英, 独, 仏, 中, 韓から1)	300点																			
合計		1000点																			
選抜方法等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入学共通テストで薬学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格とします。 2. 第1次選考 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動記録及び活動などの証明書類, 入学意志及び進学意志確認書等), 大学入学共通テストの得点により, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し, 出願資格及び出願要件を満たしているか確認します。大学入学共通テストで本学類が課す教科・科目配点による成績の合計得点(1000点満点)が, 概ね750点(75%)以上を合格の基準とします。 なお, 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には, 大学入学共通テストの得点をもとに, 出願書類(調査書, 志願理由書, 活動記録, 入学意志及び進学意志確認書等)の内容を参考にして募集人員の2倍程度になるよう選考します。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し, 「小論文」と「口述試験」による試験を実施し, 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」, 「将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質」, 「本質への探究心」, 「本学における学修意欲等」について多方面から評価します。 <table><tr><td>※配点</td><td>小論文</td><td>50点</td></tr><tr><td></td><td>口述試験</td><td>100点</td></tr><tr><td></td><td>出願書類</td><td>参考</td></tr></table>	※配点	小論文	50点		口述試験	100点		出願書類	参考											
※配点	小論文	50点																			
	口述試験	100点																			
	出願書類	参考																			

2 出願期間

令和3年2月1日（月）～4日（木）

（Web出願システムは、令和3年1月25日（月）から事前登録可能）

3 選抜期日

最終選考：令和3年2月12日（金）

4 合格者発表

第1次選考：令和3年2月10日（水）、最終選考：令和3年2月16日（火）

5 その他

(1) 薬学類・高大院接続入試に合格しなかった者のうち、一般選抜（前期日程）で薬学類が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で、所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り、一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の個別学力検査等を受験することができます。

(2) 原則として、入学後の転学類を認めません。

(3) 学校教育法施行規則第150条第4号の規定により、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格取得者は、本学が指定する科目数及び評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、次のとおりです。

※Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。

(4) 大学入学共通テストについて

① 大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」』の受験科目について、2科目受験している場合は、受験した科目のうち、第1解答科目の成績を利用します。なお、第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。

（『「地理歴史」「公民」』の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

② 大学入学共通テストの「数学」のうち、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

③ 大学入学共通テストの「数学」2科目及び「理科」2科目については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

④ 大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については、「英語」の筆記試験の成績（100点満点）を200点満点に換算して利用します。

また、入学者選抜の配点にあたっては、大学入学共通テストの「外国語」（300点）の配点に換算します。

9 在外留学生推薦入試

1 推薦要件、選抜方法等

実施学域・学類	融合学域 先導科学類(仮称)				
募集人員	5人				
推薦要件	日本の国籍を有しない者(日本国の永住許可を得ている者を除く)で、次の1から4までのすべての条件を満たすもの 1. 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3(2021)年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者 (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者 (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者 (5) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Aレベル)資格を取得した者 (6) 外国において、国際的な評価団体(ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3(2021)年3月までに修了した者及び修了見込みの者 2. 本学との大学間交流協定(部局間交流協定を含む。)機関の附属高校に相当する出身学校長又は大学間交流協定(部局間交流協定を含む。)機関の長が責任を持って推薦できる者 3. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 4. 合格した場合、入学することを確約できる者 (注) 推薦要件1. (5)については、GCE Aレベル試験において3科目以上合格(E評価以上)していること。				
選抜方法等	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 推薦書、志願理由書の評価及びそれを参考にした「口述試験(プレゼンテーションを含む)」で、「知識・技能」、「主体性・協働性」などを評価して、総合的に選抜を行います。 3. 配点 <table border="0"> <tr> <td>TOEFL iBT(注)</td><td>100点</td></tr> <tr> <td>口述試験(プレゼンテーションを含む)</td><td>200点(受験者の選択により英語又は日本語で行います。)</td></tr> </table>	TOEFL iBT(注)	100点	口述試験(プレゼンテーションを含む)	200点(受験者の選択により英語又は日本語で行います。)
TOEFL iBT(注)	100点				
口述試験(プレゼンテーションを含む)	200点(受験者の選択により英語又は日本語で行います。)				

【注意事項】

(注) TOEFL iBTは、TOEFL iBT Special Home Editionも対象とします。スコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項(全選抜共通)」を確認してください。

2 出願期間

令和2年11月2日(月)～9日(月)

(Web出願システムは、令和2年10月26日(月)から事前登録可能)

3 選抜期日

令和2年12月5日(土)

4 合格者発表

令和2年12月21日(月)

5 その他

原則として、入学後の転学類を認めません。

10 社会人選抜

1 出願資格，選抜方法等

実施学域・学類	融合学域 先導科学類（仮称）
募集人員	若干名
出願資格	大学入学資格を有する社会人で，社会人経験 ^(注) を3年以上有し，令和3年4月1日現在で満21歳以上の者 (注) 1. 定時制・通信制及び夜間部以外の学校(大学を含む)の在学期間は社会人の経験年数に含めない。 2. 家事従事者・自営業等を含む。
選抜方法等	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は，小論文，口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果，調査書及び志願理由書により総合して行います。 3. 配点 小論文 100点 口述試験（プレゼンテーションを含む） 100点

2 出願期間

令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは，令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

3 選抜期日

令和2年12月5日（土）

4 合格者発表

令和2年12月21日（月）

5 その他

社会人選抜に合格しなかった者のうち，一般選抜（前期日程）で先導科学類（仮称）が課す大学入学共通テストの教科・科目を受験した者で，所要の手続により一般選抜（前期日程）に出願を行ったものに限り，一般の入学志願者と同様に一般選抜（前期日程）の個別学力検査等を受験することができます。

11 帰国生徒選抜

1 出願資格

日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者とともに外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に外国に在住しながら、最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成31（2019）年4月から令和3（2021）年3月までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
- (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において外国に在住しながら、2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で令和3（2021）年3月までに卒業見込みのもの
- (3) 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを、外国に在住しながら、最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成31（2019）年4月から令和3（2021）年3月までに修了した者及び修了見込みの者
- (4) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成31（2019）年4月以降に授与された者
- (5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成31（2019）年4月以降に取得した者
- (6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成31（2019）年4月以降に取得した者
- (7) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を平成31（2019）年4月以降に取得した者
- (8) 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を、外国に在住しながら、最終学年を含めて2学年以上継続して在学し、平成31（2019）年4月から令和3（2021）年3月までに修了した者及び修了見込みの者

- (注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含みません。
2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が1年以上経過した者は出願できません。
3. (7) については、GCE Aレベル試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については下表のとおりです。

○ 出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
(仮称) 融合学域	先導科学類(仮称)	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。
	人文学類	
人間社会学域	法学類	
	経済学類	
	地域創造学類	
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。

学域・学類		必要な科目数及び評価
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。 ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。
	医薬科学類(仮称)	
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格(E評価以上)していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。

2 入学者選抜方法等

志望する学域・学類等が課す個別学力検査等のすべてを受験しなければ、失格とします。

学域・学類等		募集人員	選抜方法等
(仮称) 融合学域	先導科学類(仮称)	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、口述試験(プレゼンテーションを含む)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
人間社会学域	人文学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、口述試験の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 国(国語総合) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
	法学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、成績証明書(調査書)、推薦書、志願理由書及び口述試験の結果を総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 国(国語総合)のうちの現代文
	経済学類	若干名	1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、成績証明書(調査書)、推薦書、志願理由書及び口述試験の結果を総合して行います。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する和文の資料を与え、出題された論題について論述させます。
	地域創造学類	若干名	1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、口述試験の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 小論文：地域創造に関することを論述させます。
	国際学類	若干名	1. 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 成績証明書(調査書)、推薦書、志願理由書の審査、英語外部試験の成績 英語外部試験：ケンブリッジ英語検定(リンガスキル含む)、実用英語技能検定、GTEC(CBT)、IELTS、TEAP(4技能又はCBT)、TOEFL iBT(Special Home Edition含む)のいずれか ※英語外部試験スコア提出については、25ページ3.を確認してください。 3. 第1次選考結果は、令和2年11月27日(金)に本人あて通知します。 4. 最終選考 第1次選考に合格した者に対して口述試験を実施します。 なお、調査書、推薦書、志願理由書も口述試験の参考とします。 5. 合否判定 第1次選考(100点満点)と最終選考(100点満点)の結果を総合して行います。

学域・学類等		募集人員	選抜方法等
理 工 学 域	数物科学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、口述試験の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)
	物質化学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(化基・化学) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	若干名	1. 機械工学類・フロンティア工学類・電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。 2. 大学入学共通テストを免除します。 3. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 4. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物理) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
	地球社会基盤学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物, 地基・地学から1) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
	生命理工学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
医 薬 保 健 学 域	医学類	若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)、口述試験の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 数(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理(物基・物理)と(化基・化学) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)
	薬学類	若干名	
	医薬科学類(仮称)	若干名	
	保 健 学 類	各専攻若干名	1. 大学入学共通テストを免除します。 2. 選抜は、個別学力検査(前期日程)の結果及び成績証明書(調査書)等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査(前期日程)で課す教科・科目名 理(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1) 外(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ)

3 出願期間

人間社会学域（経済学類，国際学類）：令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは，令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

融合学域（仮称），人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域，医薬保健学域：令和3年1月18日（月）～22日（金）

（Web出願システムは，令和3年1月12日（火）から事前登録可能）

4 選抜期日

人間社会学域（経済学類，国際学類（最終選考））：令和2年12月5日（土）

融合学域（仮称），人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域，医薬保健学域：令和3年2月25日（木），26日（金）

※選抜期日は，学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

5 合格者発表

人間社会学域（経済学類，国際学類（最終選考））：令和2年12月21日（月）

融合学域（仮称），人間社会学域（人文学類，法学類，地域創造学類），理工学域，医薬保健学域：令和3年3月10日（水）

12 国際バカロレア入試

1 募集人員

各学域・学類とも若干名（医薬保健学域医学類については実施しない）

2 出願資格

次の（1）～（3）のいずれにも該当する者

（1）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を令和3（2021）年3月までに授与された者及び授与見込みの者

（2）国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は令和3（2021）年3月までに該当する見込みの者

① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者

ただし、人文学類、法学類、経済学類、地域創造学類、国際学類においては、言語B（HL）を日本語により履修し、成績評価が4以上の者を含みます。

② 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者

学域・学类等		指定する科目等	
融合学域 (仮称)	先導科学類（仮称）	グループ3～5から1科目（HL成績評価4以上）	
人間社会学域	人文学類	ディプロマスコア35以上	
	法学類	グループ3から1科目（HL成績評価4以上）	
	経済学類	指定なし	
	学校教育学類	グループ2～6から1科目（HL成績評価4以上）	
	地域創造学類	ディプロマスコア35以上かつグループ3～5から1科目（HL成績評価4以上）	
	国際学類	指定なし	
理工学域	数物科学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	物質化学類	数学（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上）	
	地球社会基盤学類	数学（HL成績評価4以上）及び物理（HL成績評価4以上） 又は 数学（HL成績評価4以上）及び化学（HL成績評価4以上）	
	生命理工学類	数学（HL成績評価4以上） 物理、化学、生物から1科目（HL成績評価4以上）	
医薬保健学域	薬学類	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）	
	医薬科学類（仮称）		
	保健学類	看護学専攻	数学（HL成績評価4以上） 物理、化学、生物から2科目（各科目HL成績評価4以上）
		検査技術科学専攻	
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	
		放射線技術科学専攻	数学（HL成績評価4以上） 物理（HL成績評価4以上） 化学（HL成績評価4以上）

※HLはHIGHER LEVELを表す。

（3）本学での勉学を強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者

3 入学者選抜方法等

(1) 先導科学類（仮称）

- ① 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。
- ② 選抜は、提出書類等、小論文、口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果により総合して行います。

(2) 人文学類，法学類，学校教育学類，地域創造学類，国際学類，理工学域のすべての学類及び薬学類，医薬科学類（仮称），保健学類

- ① 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。
- ② 選抜は、提出書類等及び口述試験の結果により総合して行います。
- ③ 機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類の選抜は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
- ④ 保健学類は、専攻ごとに募集します。

(3) 経済学類

- ① 大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除します。
- ② 選抜は、提出書類等、小論文及び口述試験の結果により総合して行います。

4 出願期間

令和2年11月2日（月）～9日（月）

（Web出願システムは、令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

5 選抜期日

令和2年12月5日（土）

6 合格者発表

令和2年12月21日（月）

13 私費外国人留学生入試

1 募集人員

各学域・学類とも若干名

2 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の（1）及び（2）に該当するもの

（1）次のいずれかに該当する者

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者
- ⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者
- ⑥ 外国において、国際的な評価団体（ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズ）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を令和3（2021）年3月までに修了した者及び修了見込みの者

（2）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2019年度又は2020年度日本留学試験を受験した者

注意事項

入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合、「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また、短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。

3 出願条件

- （1）薬学類及び医薬科学類（仮称）については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、理科（物理及び化学）150点、数学（コース2）150点以上であること。
- （2）保健学類検査技術科学専攻については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、並びに、TOEFL iBTにおいて、得点率が60%を超えていること。
- （3）上記「2 出願資格（1）⑤」については、GCE Aレベル試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数及び評価については下表のとおりです。

○出願に必要な GCE A レベル資格の科目数及び評価

学域・学類		必要な科目数及び評価
融合学域 （仮称） 人間社会学域	先導科学類（仮称）	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。
	人文学類	
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「生物」、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。

学域・学類		必要な科目数及び評価
理工学域	数物科学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。
	医薬科学類（仮称）	
	保健学類	A レベル試験を3科目以上合格（E 評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。

4 入学者選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、2019年度又は2020年度日本留学試験、学力検査等の成績及び書類審査の結果を総合して日本人とは異なる基準により選抜します。

学力検査等の科目は、90ページのとおりです。

志望する学域・学類等が課す日本留学試験及び個別学力検査等をすべて受験しなければ失格とします。

5 出願期間

融合学域（仮称）、人間社会学域（経済学類、学校教育学類、国際学類）、理工学域：令和2年11月2日（月）～9日（月）
（Web出願システムは、令和2年10月26日（月）から事前登録可能）

人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、医薬保健学域：令和3年1月18日（月）～22日（金）
（Web出願システムは、令和3年1月12日（火）から事前登録可能）

6 選抜期日

融合学域（仮称）、人間社会学域（経済学類、学校教育学類、国際学類）、理工学域：令和2年12月5日（土）

人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、医薬保健学域：令和3年2月25日（木）、26日（金）

※選抜期日は、学類により異なります。詳細は各学生募集要項を確認してください。

7 合格者発表

融合学域（仮称）、人間社会学域（経済学類、学校教育学類、国際学類）、理工学域：令和3年1月20日（水）

人間社会学域（人文学類、法学類、地域創造学類）、医薬保健学域：令和3年3月10日（水）

学力検査等の科目

学 域 ・ 学 類 等			日本留学試験の利用する教科・科目等							英語能力	学力検査等	
			日本語	総合科目	数学	理科			出題言語			利用試験 (注2参照)
						物理	化学	生物				
融合学域(仮称)	先端科学類 (仮称)	パターンA	◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より 選択				日本語	6月 又は 11月	TOEFL iBT	口述試験 (プレゼンテーションを含む)
		パターンB		◎					英語			
		パターンC	◎		◎ コース2	○ ○ ○ 2科目選択			日本語			
		パターンD				○ ○ ○ 2科目選択			英語			
人間社会学域	人文学類		◎	◎	◎ コース1 又は コース2 より 選択				日本語 又は英語	6月 又は 11月	TOEFL iBT	国語(国総)の内の現代文 口述試験
	法学類								日本語			小論文 口述試験
	経済学類								日本語			
	学校教育学類	パターンA	◎	◎					日本語 又は 英語			
		パターンB	◎			○ ○ ○ 2科目選択			日本語 又は 英語			
	地域創造学類		◎	◎								ケンブリッジ英語検定(リングスキル含む), IELTS, TOEFL-iBTのいずれか
	国際学類	パターンA	◎	◎					日本語			
		パターンB		◎					英語			
理工学域	数物科学類		◎		◎ コース2	◎			日本語 又は 英語	6月 又は 11月	TOEFL iBT	口述試験
	物質化学類		◎			◎	◎					
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類		◎			◎	◎					
			◎			◎	◎					
	地球社会基盤学類		◎			○ ○ ○ 2科目選択						
	生命理工学類		◎			○ ○ ○ 2科目選択						
医薬保健学域	医学類		◎		◎ コース2	○ ○ ○ 2科目選択			日本語	6月 又は 11月	TOEFL iBT	数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理科(物基・物理と化基・化学) 口述試験
	薬学類		◎			◎	◎					数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理科(物基・物理と化基・化学) 外国語(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ) 口述試験
	医薬科学類 (仮称)		◎			◎	◎					理科(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1) 外国語(コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ) 口述試験
	保健学類	看護学専攻				○ ○ ○ 2科目選択						数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B) 理科(物基・物理, 化基・化学, 生基・生物から1) 口述試験
		放射線技術科学専攻	◎			○ ○ ○ 2科目選択						口述試験
		検査技術科学専攻				○ ○ ○ 2科目選択						口述試験
		理学療法学専攻				○ ○ ○ 2科目選択						口述試験
		作業療法学専攻				○ ○ ○ 2科目選択						口述試験
						○ ○ ○ 2科目選択						口述試験

- (注) 1. ◎は必須科目, ○は選択科目を示します。
2. 日本留学試験は, 2019年度又は2020年度の6月及び11月のいずれか1回の成績を利用します。
3. 先端科学類(仮称)における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンA, パターンB, パターンC, パターンDのいずれかによる受験が必要です。
4. 学校教育学類と国際学類における「日本留学試験の利用する教科・科目等」は, パターンA 又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
5. 全学類のTOEFL iBTは, TOEFL iBT Special Home Editionも対象とします。
6. 英語外部試験のスコア提出については25ページの「3. 英語外部試験スコア提出における注意事項(全選抜共通)」を確認してください。
7. 国際学類においてパターンBによる受験をした者は, 入学後に配属されるコースは国際社会コース又は米英コースのいずれかとなります。
8. 機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類の選抜は3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
9. 新型コロナウイルス感染症の影響により, TOEFL iBTを受験できなかった場合は, TOEFL iBTに代えて, 人文学類はケンブリッジ英語検定(リングスキル含む)及びIELTS, 法学類及び理工学域全学類はケンブリッジ英語検定(リングスキル含む), 実用英語検定, GTEC(CBTタイプ), IELTS, TEAP(4技能又はCBT)のスコアの提出を認めます。

14 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障害が著しく、本学の個別学力検査において、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらず大学入学共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また、事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も、直ちに本学へ相談してください。

1 事前相談期限

KUGS 特別入試，超然特別入試，在外留学生推薦入試，社会人選抜，帰国生徒選抜，国際バカロレア入試，私費外国人留学生入試	令和2年10月 5日（月）
薬学類・高大院接続入試	令和2年12月18日（金）
一般選抜（前期日程）	令和3年 1月 5日（火）

2 提出書類

- (1) 事前相談書（次の事項及び連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）について記載したもの。様式は問いません。）
 - ① 志願者氏名
 - ② 志望学域学類等及び受験予定の入試区分
 - ③ 障がいの種類・程度
 - ④ 受験について配慮を希望する事項
 - ⑤ 修学について配慮を希望する事項
 - ⑥ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮
 - ⑦ 日常生活の状況
 - ⑧ その他参考となる事項
- (2) 医師の診断書（上記③，④，⑤，⑦に関する項目も記載してください。）
- (3) 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた者のみ）
- (4) その他参考書類（障害者手帳の写し等）

3 相談先

学務部入試課入学試験係

住 所 〒920－1192 金沢市角間町

電 話 076－264－5169（平日午前9時から午後5時まで ※ 祝日，夏季休業及び年末年始を除く）

F A X 076－234－4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

15 JAPAN e-Portfolio 学びのデータ

本学では、多面的・総合的評価の実現のためにJAPAN e-Portfolio（JeP）学びのデータを活用しています。JePを使用している者は、JeP 学びのデータ請求票を出力し、出願書類と一緒に郵送してください。提出された学びのデータは、主体性等評価において調査書を補完する参考資料として活用します。

なお、JeP 学びのデータを提出できない場合も入学者選抜において不利とはしません。

16 学生募集要項の入手方法等

1 学生募集要項の入手方法

学生募集要項（一般選抜、KUGS特別入試、超然特別入試、薬学類・高大院接続入試、在外留学生推薦入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、国際バカロレア入試、私費外国人留学生入試）は、本学Webサイトから確認してください。紙媒体（冊子）での配布は行いません。

本学（入試情報）Web サイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



2 学生募集要項の発表予定時期

募集要項名	発表予定時期
一 般 選 抜	令和 2 年 11 月上旬
K U G S 特 別 入 試	令和 2 年 9 月下旬
超 然 特 別 入 試	
薬 学 類 ・ 高 大 院 接 続 入 試	
在 外 留 学 生 推 薦 入 試	
社 会 人 選 抜	
帰 国 生 徒 選 抜	
国 際 バ カ ロ レ ア 入 試	
私 費 外 国 人 留 学 生 入 試	

3 大学案内等の請求方法

(1) 本学Web サイトから資料請求をする場合

本学Web サイトから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは本学（入試情報）Web サイト（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>）を確認してください。

(2) テレメールで請求する場合（Web サイト、自動音声応答電話）

① Web サイト又は自動音声応答電話を利用してください。



Web サイトの場合	自動音声応答電話の場合	
https://telemail.jp	IP 電話	050 - 8601 - 0101（24 時間受付） （一般電話回線からの通話料金は 日本全国どこからでも 3 分毎に約 12 円）
2 次元バーコード 		

② 資料請求番号（6 桁）を入力又はプッシュしてください。

（2 次元バーコードを読み取りアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要）

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
大学案内	563022	250 円
入学者選抜要項（入試に関する概要）	583022	250 円
入学者選抜要項（入試に関する概要）＋大学案内	563002	310 円

③ ガイダンスに従って送付先を登録してください。

※ 資料は通常、発送日のおおむね3～5日後で送付できます（日曜・祝日の配達はありません）。送付先地域や郵便事情によっては送付に1週間程度要する場合があります。

※ 午後5時30分までの受付は当日発送、午後5時30分以降の受付は翌日発送とします。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付とし、発送開始日に一斉に発送します。

※ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管してください。

※ 随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまで問合せください。

※ 料金は送付資料に同封の支払い用紙を確認の上、資料到着後2週間以内に支払ってください。

※ 料金の支払い方法は「コンビニ支払い」「LINE Pay 請求書支払い」「ケータイ払い」「クレジットカード払い」が利用できます。なお、支払い時に手数料として、コンビニ払いとLINE Pay 請求書支払いは88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）も利用できます。

→ (1)、(2) の請求方法についての問合せ先

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102（午前9時30分から午後6時まで）

(3) 金沢大学へ直接請求する場合

郵送を希望する場合は、受信者の郵便番号、住所、氏名を明記し郵便切手を貼付した返信用封筒（角形2号約33cm×約24cm）を同封の上、封筒の表に「〇〇請求」と朱書し、請求してください（郵送を希望する資料名及び送料（郵便切手）は(2)－②を確認してください）。

4 問合せ先

電話での問合せは、平日（月曜日～金曜日 ※祝日、夏季休業及び年末年始を除く）午前9時から午後5時の間で**本人に**限ります。

(1) 入学試験関係

入学試験に関する問合せは、下記へ行ってください。

学務部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電 話 076-264-5169, 5177 ~ 5179 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp	FAX 076-234-4042
-------------	---------------------	--	------------------

(2) 修学関係

入学後の授業あるいは学生生活に関する問合せは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問合せ先	
融合学域 (仮称)	先 導 科 学 類 (仮称)	学務部融合学域設置推進室 Email yugokyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－264－5922	〒920－1192 金沢市角間町
	人 文 学 類	人間社会系事務部学生課教務係 Email n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076－264－5603	
	法 学 類		
	経 済 学 類		
	学 校 教 育 学 類		
	地 域 創 造 学 類		
	国 際 学 類		

志望学域・学類等		問合せ先	
理工学域	数 物 科 学 類	理工系事務部学生課教務係 Email s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 234 - 6831	〒920 - 1192 金沢市角間町
	物 質 化 学 類		
	機 械 工 学 類		
	フロンティア工学類		
	電子情報通信学類		
	地球社会基盤学類		
	生命理工学類		
医薬保健学域	医 学 類	医薬保健系事務部学生課医学学務係 Email t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2125, 2127	〒920 - 8640 金沢市宝町13番1号
	薬 学 類	医薬保健系事務部薬学・がん研支援課薬学学務係 Email y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 234 - 6827, 6828	〒920 - 1192 金沢市角間町
	医 薬 科 学 類 (仮称)	医薬科学類設置準備事務局 Email i-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2125, 2127	〒920 - 8640 金沢市宝町13番1号
	保 健 学 類	医薬保健系事務部保健学支援課保健学務係 Email t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2515, 2516	〒920 - 0942 金沢市小立野5丁目11番80号
文 系 一 括 理 系 一 括 (国際基幹教育院総合教育部)		学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Email stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 264 - 5758	〒920 - 1192 金沢市角間町

5 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学域等	交通機関
① かくま 角間	事務局(学務部) 融合学域(仮称) 理工学域 医薬保健学域 (薬学類, 医薬科学類創薬科学 コース(仮称))	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 7番乗り場発 乗車: 93, 94, 97 金沢大学行き 下車: 金沢大学自然研前 (JR金沢駅から約35分)
	人間社会学域	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 7番乗り場発 乗車: 93, 94, 97 金沢大学行き 下車: 金沢大学(終点) (JR金沢駅から約40分)
② たからまち つるま 宝町・鶴間	医薬保健学域 (医学類, 医薬科学類生命医科 学コース(仮称), 保健学類)	JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナルから北陸鉄道バス 6番乗り場発(橋場町・兼六園下経由) 乗車: 11 東部車庫・金沢学院大学・金沢大学附属病院行き, 12 北陸大学・湯涌温泉行き 下車: 小立野, 石引広見 7番乗り場発 乗車: 13 湯谷原・医王山行き, 14 太陽が丘ニュータウン行き 下車: 小立野 JR金沢駅金沢港口(西口)バスターミナルから北陸鉄道バス 5番乗り場発(香林坊経由) 乗車: 10 東部車庫・金沢学院大学行き 下車: 小立野 (JR金沢駅から約20分)

(注) 乗り場のあるバスターミナルを事前に確認した上で、利用してください。

本学(アクセス・キャンパスマップ) Web サイト (<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>)



金沢大学学務部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5169,5177~5179

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学（入試情報）Webサイト 金沢大学トップページ>教育>入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



202007.9000